

長崎県埋蔵文化財センター調査報告書 第45集

長崎県埋蔵文化財調査年報 30

[令和3年度調査分]

2022

長崎県教育委員会

はじめに

長崎県には先人たちの残した3,800箇所を超える遺跡（埋蔵文化財）があります。こうした埋蔵文化財は地域の歴史を物語り、地域づくりや人づくりに活用できる国民共有の財産です。私たちはこれら先人から受け継いだ貴重な文化財を適切に保存・活用し、後世の人々に伝えていく責務があります。

長崎県教育委員会では、国・県の公共事業に伴う開発が行われる際には事前に予備調査及び開発部局との協議を行って埋蔵文化財の保護を図り、その結果やむを得ず保護できない場合においては記録保存のための発掘調査を実施しています。

令和3年度は早岐川河川改修工事に伴う発掘調査や島原道路建設に伴う発掘調査、西九州自動車道松浦佐々道路建設に伴う発掘調査などを行いました。また、「原の辻遺跡」の全容解明のための内容確認調査を継続的に実施しています。

本書は、令和3年度に長崎県教育委員会が行った全ての発掘調査の概要、長崎県埋蔵文化財センターが行った調査研究や遺物の保存処理、展示、普及啓発などの事業概要について掲載しております。本書が県民の皆様の地域の歴史や文化への理解の一助になれば幸いです。

令和4年9月

長崎県教育委員会教育長

中嶋謙司

例　　言

- 1 本書は長崎県における埋蔵文化財保護行政の現状と長崎県教育委員会が令和3年度に実施した発掘調査の概要を収録したものである。
- 2 調査遺跡名の【】内は長崎県教育委員会独自の遺跡調査番号である。
- 3 調査概要の調査区位置図等は長崎県教育庁学芸文化課のウェブコンテンツ『長崎県遺跡地図』を使用している。
- 4 IVについては各遺跡の調査担当者と調査概要の執筆者を文末に記している。
- 5 本書の編集は長崎県埋蔵文化財センターが行った。

本　文　目　次

I.	長崎県の埋蔵文化財保護行政の現状	1
1.	県が実施した発掘調査の現状	1
2.	市町が実施した発掘調査の現状	2
II.	本県が主催する文化財保護に関する研修事業	6
1.	長崎県市町文化財保護行政主管課長会議・担当者会議	6
2.	開発部局・文化財保護部局担当者文化財基礎研修	6
3.	埋蔵文化財担当者専門技術研修	7
III.	長崎県埋蔵文化財センターの事業	8
1.	東アジア考古学研究事業	8
(1)	発掘調査事業	8
(2)	東アジア国際シンポジウムの開催	8
(3)	東アジア諸国の研究機関との連携	10
(4)	長崎県埋蔵文化財センター研究紀要第12号の刊行	10
2.	保存処理事業	11
3.	水中文化遺産保存活用推進事業	12
(1)	県内水中遺跡の分布調査	13
(2)	水中文化遺産保護の担い手育成（水中考古学体験講座）	13
4.	教育普及事業	14
(1)	オープン収蔵展示	14
(2)	情報誌	15
(3)	ホームページおよびFacebookの公開更新	15
(4)	体験学習	16

(5) バックヤードツアー	16
(6) 資料貸出・閲覧・掲載許可	16
(7) 長崎県立壱岐高等学校「東アジア歴史・中国語コース」支援	17
(8) 学校教育支援「埋文MAIBUN学びのサポート」	18
(9) 現地説明会	19
 IV. 令和3年度長崎県教育委員会による埋蔵文化財発掘調査の概要	20
1. 灰ノ久保遺跡（範囲確認）【202101】	20
2. 早岐瀬戸遺跡（本調査）【202102】	21
3. 津吹遺跡（本調査）【202103】	22
4. 原口B遺跡（本調査）【202104】	23
5. 上新高野遺跡（本調査）【202104】	24
6. 大高野遺跡（本調査）【202105】	25
7. 筒城浜遺跡（範囲確認）【202106】	26
8. 百間竈遺跡（範囲確認）【202107】	27
9. 寺中A遺跡（隣接地）（試掘調査）【202108】	28
10. 灰ノ久保遺跡（範囲確認）【202109】	29
11. 下源在高野遺跡（隣接地）（試掘調査）【202110】	30
12. 水中遺跡分布調査【202111】	31
13. 石屋洞穴（本調査）【202112】	32
14. 原の辻遺跡（隣接地）（範囲内容確認）【202113】	33
15. 烟中遺跡（範囲内容確認）【202114】	34
16. 灰ノ久保遺跡（範囲確認）【202115】	35
17. 岡城（夏峰城）跡（隣接地）（試掘調査）【202116】	36
18. 杉山古墳（隣接地）（試掘調査）【202117】	37

(報告書抄録)

I. 長崎県の埋蔵文化財保護行政の現状

令和3（2021）年度の長崎県における周知の埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等の届出・通知は、法第93条288件、法94条195件、合計483件であった。2020年度と比較して61件の減となっている。発掘調査の届出・通知は、法92条61件、法99条等122件の合計183件であった。92条届出の大幅な増加は、佐世保市宇久島における太陽光パネル建設に伴う試掘調査によるものである。開発に伴う記録保存を目的とした本調査は19件行われており、昨年度と同様に島原半島での農業基盤整備事業に伴う調査に加え、島原道路建設に伴う調査が増えつつある。

1. 県が実施した発掘調査の現状

令和3年度は5件の本調査と8件の範囲確認調査及び試掘調査を実施した。

佐世保市石屋洞穴では西九州自動車道建設に伴う本調査を実施した。丘陵端部の斜面に立地する小規模な洞穴遺跡で、洞穴の奥行最大8m・幅2～3m・現況の天井高7mほどの規模である。昨年度の試掘調査では縄文時代の石器剥片及び炉跡が検出された。急斜面地形の前庭部では遺構・遺物とともに確認されなかったが、洞穴内で炉跡及び石器剥片を主とした遺物の出土があった。堆積層はシルト層と小礫層の互層となっており、洞穴開口部の雨だれライン付近で堆積が縦にずれる断層が確認された。遺構・遺物では、雨だれラインより内側の範囲で計5面の遺構面が検出され、主に各遺構面で遺物の出土があった。出土土器は第2面で西唐津式が、第4・5面では楕円押型文土器が出土している。遺物の大半を占める石器剥片は260点以上を数え、黒曜石を数点含む以外は福井川系の安山岩を素材とする。

佐世保市早岐瀬戸遺跡では、早岐川河川改修工事に伴い令和元年度から5か年計画で本調査を行っている。過去2か年の調査で近世の埋め立て地業に伴う護岸石垣が10列近く検出されているが、令和3年度の調査でさらに古い3列の護岸石垣が確認された。そのほか、これまでと同様に溝や井戸、土坑等の町屋遺構が多く検出されている。また、令和元年度の調査で一部確認されていた大型建物跡の基礎石列及び釀造関連遺構を継続して調査した。建物跡内部には棟持柱の基礎とみられる方形の集石遺構も検出された。釀造関連の蔵と推定されるこの建物跡は、梁間11.5m・桁行確認長15m以上の規模があり、延伸部分は令和5年度に調査予定である。出土遺物は膨大で600箱を数え、包含層からではあるが元文一分判の出土もあった。

島原道路（出平有明バイパス）建設に伴い島原市内の4遺跡（津吹遺跡・原口B遺跡・上新高野遺跡・大高野遺跡）の本調査を実施した。津吹遺跡では、黒色火山灰土の最下層で弥生土器が出土し、その下の黄褐色砂質土上面で縄文時代晚期の土器が出土した。原口B遺跡・上新高野遺跡では、褐色硬質ローム層及びその下位で黒曜石及び安山岩の石器剥片が出土した。大高野遺跡では、褐色火山灰層上面で縄文時代晚期の条痕文土器や黒色磨研土器が、その下の黒色土上面で縄文時代早期の押型文土器（格子文・楕円文）が出土した。

上記の内容を含め、県が令和3年度に実施した国・県の公共事業に伴う調査は以下のとおりである。

【国事業】

- ・一般国道497号西九州自動車道埋蔵文化財発掘調査（石屋洞穴）

【県事業】

- ・早岐川河川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査（早岐瀬戸遺跡）
- ・島原道路（出平有明バイパス）建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査（津吹遺跡、他）
- ・島原道路（出平有明バイパス）建設工事に伴う埋蔵文化財範囲確認調査及び試掘調査（灰ノ久保遺跡、他）
- ・島原道路（瑞穂吾妻バイパス）建設工事に伴う埋蔵文化財範囲確認調査及び試掘調査（岡城跡（隣接地）、他）

2. 市町が実施した発掘調査の現状

令和3年度は県内市町によって、第99条による発掘調査が55件行われた。このうち、本発掘調査は14件でその多くが圃場整備事業等の公共事業に起因するものである。以下、時代別に調査成果を概観する。

旧石器時代や縄文時代の遺跡の調査は島原半島地区で多く行われている。雲仙市下高野遺跡では圃場整備事業に伴う本発掘調査でAT層中からナイフ形石器が出土している。また、同中高野遺跡では細石刃や台形石器の出土も報じられている。縄文土器は、雲仙市下高野遺跡（早期・晚期）、同内屋敷遺跡（晚期）、南島原市東新堂原遺跡（後期・晚期）等で出土しており、南島原市野中B遺跡、同野中C遺跡では縄文時代から弥生時代にかけての石器類が出土している。

南島原市新堂原遺跡の本発掘調査では、弥生時代前期の竪穴住居跡が発見されている。住居跡の中からは石器製作時に生じる碎片類が約2,500点検出されており、廃絶後に廃棄土坑として利用されていた可能性が指摘されている。また、土器類や石器類に伴って炭化したドングリ約400点があわせて出土している。壱岐市車出遺跡群では旧郷ノ浦町時代に発見されていた遺構の詳細を確認するための確認調査が行われた。調査は120m²のトレンチ調査であったが58,000点を超える大量の遺物が出土している。出土遺物の6割以上が丹塗り土器で、国内3例目となる丹塗り双注口脚付壺や30個体以上の袋状口縁壺が出土しており、祭祀色の強い遺跡であることが判明している。

令和3年度は古墳の本発掘調査が2件行われている。雲仙市稻荷鬼塚古墳は古墳時代後期の円墳で昨年度に引き続き調査が行われた。調査の結果、外護列石と呼ばれる墳丘基礎石、入口（開口部）、羨道、羨道と玄室の間の閉塞石、羨道西面の改修の痕跡が検出され、墳丘の外側には岩盤を浅く掘り込んだ痕跡もあって周溝が廻る可能性も指摘されている。墳丘の基礎石や入口（開口部）、羨道部分からは、数多くの須恵器や土師器、鉄製品、勾玉、切子玉、耳環（金環・銀環）が出土しており、その出土状況や内容から追葬を行っていたことも明らかにされている。壱岐市久保頭古墳は民間開発に伴って本発掘調査が行われた。古墳は全体的に毀損が進んでおり、墳丘形状を確定することはできていないが、島内の古墳との比較検討から半径7m、直径14m程度の円墳であったと推定される。古墳に伴う遺物として、玄室からは須恵器、土師器、鉄刀、鉄鎌とみられる鉄製品、前室から須恵器、土師器と金銅製耳環、鉄製馬具（轡・鉄具）、鉄鎌が出土している。中でも鉄製轡は、複環式鏡板付轡と呼ばれる稀少なもので、大和政権で勢力を誇った物部氏や伽耶地域（韓半島南部）との関係性が示唆される。

中世遺跡の調査として、大村市聖宝寺跡では道路改良工事に伴う本発掘調査で中世から近世にかけての大形建物跡が4棟発見されている。最も大きい建物跡は柱穴が約1mあり、面積は72m²を超える

可能性がある。聖宝寺は戦国時代には174石の寺領を持つ禅宗寺院として栄えたことで知られており、地方における中世寺院の実態に迫る貴重な成果である。この他、諫早市では市内のキリスト教関連遺跡の保存を目的にして千々石ミゲル墓所推定地、山川内遺跡、ジブの墓の調査を行っている。

近世遺跡の調査は、長崎市唐人屋敷遺跡、同桜町遺跡で本発掘調査が行われている。また、保存目的調査では、対馬市お船江跡、長与町長与三彩窯跡、小値賀町沖ノ神嶋神社境内で調査がそれぞれ行われている。小値賀町の野崎島では、沖ノ神嶋神社の関連遺跡の調査として野崎港周辺の潜水調査が行われ、19世紀初頭の近世陶磁器が採集されている。この時期は大村藩領から多くの潜伏キリスト教徒が集団で移住した頃に合致することから島内の集落形成の過程を考える上で貴重である。

近代遺跡の調査は、2件の保存目的調査が行われている。長崎市長崎原爆遺跡では山王神社境内の被爆前の構造配置や石造物の調査が行われた。佐世保市佐世保鎮守府倉庫跡遺跡では、歴史公園の整備を目的に確認調査が行われた。調査の結果、弾薬包庫、爆発管庫、廃棄艦処分品第一仮格納庫と呼ばれる明治時代から大正時代にかけて設けられた3棟の近代建物跡が良好に保存されていることが明らかにされた。発掘調査で確認された遺構は、歴史公園の中で展示公開される予定であり、今後の整備や活用に期待が寄せられる。

令和3年度 長崎県における発掘調査の履歴（1）

遺跡名	遺跡所在地	調査主体	調査開始日	調査終了日	調査原因	調査種別	調査面積 (m ²)	備考
灰ノ久保遺跡	島原市	県(埋文)	2021/5/17	2021/5/25	道路	範囲	16.0	HNK202101
早岐瀬戸遺跡	佐世保市	県(埋文)	2021/6/24	2022/2/10	河川	本調査	1265.0	HAS202102
津吹遺跡	島原市	県(埋文)	2021/7/2	2021/9/29	道路	本調査	487.0	TBK202103
原口B遺跡	島原市	県(埋文)	2021/7/2	2021/1/31	道路	本調査	1325.0	HGB202104
上新高野遺跡	島原市	県(埋文)	2021/7/2	2021/1/31	道路	本調査	2551.0	HGB202104
大高野遺跡	島原市	県(埋文)	2021/7/2	2021/1/31	道路	本調査	1011.0	JCA202105
筒城浜遺跡	壱岐市	県(埋文)	2021/7/26	2021/7/30	保存目的の範囲確認調査	範囲	20.0	TKH202106
百間龜遺跡	五島市	県(埋文)	2021/7/14	2021/7/16	その他開発(太陽光発電設置)	範囲	4.0	HYK202107
寺中A遺跡	島原市	県(埋文)	2021/9/22	2021/10/8	道路	試掘	4.0	JCA202108
灰ノ久保遺跡	島原市	県(埋文)	2021/9/22	2021/10/8	道路	範囲	4.0	HNK202109
下源在高野遺跡(隣接地)	島原市	県(埋文)	2021/9/22	2021/10/8	道路	試掘	6.0	SGK202110
水中遺跡分布調査	壱岐市・対馬市	県(埋文)	-	-	-	分布調査	-	UWS202111
石屋洞穴	佐世保市	県(埋文)	2021/10/27	2022/2/22	道路	本調査	170.0	IWY202112
原の辻遺跡	壱岐市	県(埋文)	2021/11/4	2021/12/24	保存目的の範囲内容確認調査	範囲	300.0	HAR202113
畑中遺跡	島原市	県(埋文)	2021/11/29	2021/12/3	道路	範囲	18.0	HTN202114
灰ノ久保遺跡	島原市	県(埋文)	2022/1/17	2022/1/24	道路	範囲	18.0	HNK202115
岡城(夏峰城)跡(隣接地)	雲仙市	県(埋文)	2022/2/14	2022/3/4	道路	試掘	32.0	NMJ202116
杉山古墳(隣接地)	雲仙市	県(埋文)	2022/2/14	2022/3/4	道路	試掘	40.0	SGY202117
唐人屋敷跡	長崎市	長崎市	2021/4/19	2021/6/2	道路	本調査	23.0	
桜町遺跡	長崎市	長崎市	2021/7/5	2021/7/16	その他開発(市庁舎跡地活用)	範囲	8.0	
桜町遺跡	長崎市	長崎市	2022/1/12	2022/3/15	道路	本調査	79.0	
長崎原爆遺跡(山王神社)	長崎市	長崎市	2021/12/6	2022/4/14	保存目的の範囲内容確認調査	範囲	8.0	
小谷南窯跡(新規)	佐世保市	佐世保市	2021/4/20	2021/4/26	その他開発(売買)	試掘	11.2	
早岐瀬戸遺跡	佐世保市	佐世保市	2021/8/23	2021/8/31	個人住宅	範囲	8.0	
竹辺A遺跡(隣接地)	佐世保市	佐世保市	2021/8/20	2021/8/20	宅地造成	試掘	8.0	
竹辺遺跡	佐世保市	佐世保市	2021/7/20	2021/11/24	住宅	本調査	60.0	
佐世保要塞砲兵連隊衛戍病院跡(隣接地)	佐世保市	佐世保市	2021/10/11	2021/10/22	学校建設	試掘	35.8	
竹辺B遺跡	佐世保市	佐世保市	2021/12/3	2021/12/6	宅地造成	範囲	513.0	
佐世保市鎮守府倉庫跡遺跡	佐世保市	佐世保市	2021/12/21	2022/2/25	公園造成	範囲	346.0	
松原遺跡	佐世保市	佐世保市	2022/1/18	2022/1/20	個人住宅	範囲	403.6	
竹辺D遺跡	佐世保市	佐世保市	2022/1/25	2022/1/25	個人住宅・宅地造成	範囲	12.0	
竹辺遺跡	佐世保市	佐世保市	2022/2/24	2022/2/25	個人住宅・その他建物(診療所)	範囲	6.0	
餅ノ木遺跡	佐世保市	佐世保市	2022/2/21	2022/2/25	ガス・電気・水道	範囲	25.0	
宮の本遺跡	佐世保市	佐世保市	2022/2/21	2022/3/4	保存目的の範囲内容確認調査	本調査	22.0	
宇久	佐世保市	個人	2021/8/2	2022/3/25	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	1307.0	
宇久	佐世保市	個人	2021/10/5	2021/10/13	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	21.5	
宇久	佐世保市	個人	2021/10/8	2021/10/15	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	33.7	
宇久	佐世保市	個人	2021/8/5	2021/8/25	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	32.0	
宇久	佐世保市	個人	2021/8/5	2021/8/25	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	32.0	
宇久	佐世保市	個人	2021/8/27	2021/9/8	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	12.1	
宇久	佐世保市	個人	2021/8/26	2021/9/16	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	40.1	
宇久	佐世保市	個人	2021/9/8	2021/9/29	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	38.2	

令和3年度 長崎県における発掘調査の履歴（2）

遺跡名	遺跡所在地	調査主体	調査開始日	調査終了日	調査原因	調査種別	調査面積 (m ²)	備考
宇久	佐世保市	個人	2021/9/29	2021/10/13	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	12.3	
宇久	佐世保市	個人	2022/1/18	2022/2/16	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	41.0	
宇久	佐世保市	個人	2022/1/14	2022/1/28	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	21.0	
宇久	佐世保市	個人	2022/1/12	2022/1/27	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	20.7	
宇久	佐世保市	個人	2021/12/10	2022/1/11	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	12.5	
宇久	佐世保市	個人	2021/12/14	2022/1/13	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	23.5	
宇久	佐世保市	個人	2021/12/21	2022/1/13	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	12.0	
宇久	佐世保市	個人	2022/1/6	2022/2/21	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	120.7	
宇久	佐世保市	個人	2021/12/8	2022/1/11	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	20.5	
宇久	佐世保市	個人	2021/12/8	2022/1/11	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	16.9	
宇久	佐世保市	個人	2021/12/7	2022/1/11	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	20.7	
宇久	佐世保市	個人	2021/12/2	2022/1/24	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	53.0	
宇久	佐世保市	個人	2021/11/4	2022/1/4	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	21.1	
宇久	佐世保市	個人	2021/10/28	2022/1/4	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	32.4	
宇久	佐世保市	個人	2021/10/21	2021/11/11	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	12.2	
宇久	佐世保市	個人	2021/10/18	2021/12/15	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	118.5	
宇久	佐世保市	個人	2021/10/27	2021/12/7	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	43.1	
宇久	佐世保市	個人	2021/10/13	2021/11/2	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	49.3	
宇久	佐世保市	個人	2022/1/27	2022/3/14	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	84.5	
宇久	佐世保市	個人	2021/9/22	2021/10/11	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	62.4	
宇久	佐世保市	個人	2022/2/4	2022/3/14	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	20.1	
宇久	佐世保市	個人	2022/2/8	2022/3/14	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	12.3	
宇久	佐世保市	個人	2022/2/27	2022/3/14	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	8.1	
宇久	佐世保市	個人	2022/2/14	2022/3/14	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	28.2	
宇久	佐世保市	個人	2022/2/24	2022/3/14	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	12.3	
宇久	佐世保市	個人	2022/3/2	2022/3/14	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	20.5	
宇久	佐世保市	個人	2022/3/3	2022/3/14	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	24.7	
宇久	佐世保市	個人	2022/2/28	2022/3/14	その他開発(太陽光パネル建設)	試掘	20.5	
下源在高野遺跡	島原市	島原市	2021/5/10	2021/5/11	農業基盤整備事業(農道等を含む)	範囲	4.0	
上一野遺跡	島原市	島原市	2021/5/25	2021/8/26	農業基盤整備事業(農道等を含む)	範囲	28.8	
寺中B遺跡	島原市	島原市	2021/7/12	2021/7/28	農業基盤整備事業(農道等を含む)	範囲	7.2	
甘木遺跡	島原市	島原市	2021/7/12	2021/7/19	農業基盤整備事業(農道等を含む)	範囲	3.6	
島原城跡	島原市	島原市	2021/9/28	2021/9/30	ガス・電気・水道	範囲	2.3	
寺中城跡	島原市	島原市	2021/11/8	2021/11/30	農業基盤整備事業(農道等を含む)	範囲	9.0	
西川遺跡	島原市	島原市	2021/6/8	2021/6/11	農業基盤整備事業(農道等を含む)	範囲	3.6	
猿崎遺跡	諫早市	諫早市	2021/6/28	2021/8/27	その他の農業関係事業(農道等を含む)	範囲	12.0	
小野条里遺跡	諫早市	諫早市	2021/8/19	2021/8/30	宅地造成	範囲	4.0	
ジブの墓	諫早市	諫早市	2021/9/8	2021/10/29	保存目的の範囲内容確認調査	範囲	13.0	
太郎丸遺跡	諫早市	諫早市	2021/9/27	2021/11/19	その他建物(デイサービス(事業所))	範囲	4.0	
菅牟田池遺跡	諫早市	諫早市	2022/1/13	2022/2/7	その他開発(太陽光発電施設)	範囲	8.0	
千々石ミゲル墓所推定地	諫早市	諫早市	2021/11/19	2022/3/31	保存目的の範囲内容確認調査・学術調査	範囲	19.8	
山川内遺跡	諫早市	諫早市	2021/11/19	2022/3/31	保存目的の範囲内容確認調査・学術調査	範囲	24.8	
上横址遺跡	諫早市	諫早市	2021/11/29	2022/1/13	住宅・その他建物(福祉施設)・宅地造成	範囲	4.0	
開遺跡	諫早市	諫早市	2022/2/10	2022/3/31	その他開発(石塔移動及び造成計画)	範囲	2.0	
三城城下跡	大村市	大村市	2021/4/14	2021/4/19	宅地造成	範囲	20.0	
三城城下跡	大村市	大村市	2021/4/14	2021/4/26	宅地造成	範囲	60.0	
三城城下跡	大村市	大村市	2021/4/20	2021/4/23	宅地造成	範囲	12.0	
富の原遺跡	大村市	大村市	2021/6/23	2021/6/28	その他開発(駐車場造成)	範囲	16.0	
黒丸遺跡	大村市	大村市	2021/6/9	2021/6/22	宅地造成	範囲	96.0	
寿古遺跡	大村市	大村市	2021/6/1	2021/6/21	その他の農業関係事業(農道等を含む)	範囲	62.4	
黒丸遺跡	大村市	大村市	2021/9/21	2021/9/21	宅地造成	範囲	7.5	
黒丸遺跡	大村市	大村市	2021/9/21	2021/9/21	その他開発(寄宿舎)	範囲	22.0	
帶取遺跡	大村市	大村市	2021/9/27	2021/10/4	宅地造成	範囲	39.5	
黒丸遺跡	大村市	大村市	2021/10/5	2021/10/7	宅地造成	範囲	44.0	
聖宝寺跡	大村市	大村市	2021/8/6	2022/2/16	道路	本調査	2147.0	
寿古遺跡	大村市	大村市	2021/10/27	2021/10/27	その他開発(ビニールハウス建設)	範囲	4.0	
黒丸遺跡	大村市	大村市	2021/12/20	2021/12/24	宅地造成	範囲	40.5	
冷泉遺跡	大村市	大村市	2021/12/14	2021/12/24	宅地造成	範囲	45.0	
黒丸遺跡	大村市	大村市	2021/12/22	2021/12/22	個人住宅	範囲	8.0	
三城城下跡	大村市	大村市	2022/2/2	2022/2/2	個人住宅	範囲	3.0	
黒丸遺跡	大村市	大村市	2022/1/19	2022/2/2	宅地造成	範囲	54.0	
三城城跡	大村市	大村市	2022/1/12	2022/2/2	道路	範囲	11.0	
三城城下跡	大村市	大村市	2022/2/14	2022/2/28	宅地造成	範囲	30.5	
冷泉遺跡	大村市	大村市	2021/10/19	2022/3/4	その他開発(駐車場)	範囲	98.5	
三城城下跡	大村市	大村市	2022/3/11	2022/3/25	宅地造成	範囲	10.5	
永田遺跡	平戸市	平戸市	2021/4/19	2021/4/26	道路	範囲	10.0	
堂の元遺跡	平戸市	平戸市	2021/5/25	2021/5/31	道路	範囲	4.0	
梅崎遺跡	平戸市	平戸市	2021/8/30	2021/9/1	道路	範囲	4.0	
小手田遺跡	平戸市	平戸市	2021/10/18	2021/12/22	農業基盤整備事業(農道等を含む)	範囲	135.0	
昼畑遺跡(隣接地)	松浦市	松浦市	2022/3/8	2022/3/18	保存目的の範囲内容確認調査	試掘	9.0	
対馬藩お船江跡	対馬市	対馬市	2020/2/18	2021/11/9	保存目的の範囲内容確認調査	範囲	10.0	
対馬藩お船江跡	対馬市	対馬市	2022/1/3	2022/3/31	保存目的の範囲内容確認調査	範囲	20.0	

令和3年度 長崎県における発掘調査の履歴（3）

遺跡名	遺跡所在地	調査主体	調査開始日	調査終了日	調査原因	調査種別	調査面積 (m ²)	備考
オテカタ遺跡	対馬市	大学	2022/3/17	2022/3/25	学術調査	範囲	12.0	
双六古墳(隣接地)	壱岐市	壱岐市	2021/5/10	2021/10/6	その他開発(病院施設建設)	試掘	178.0	
車出遺跡群	壱岐市	壱岐市	2021/8/1	2021/12/8	保存目的の範囲内容確認調査	範囲	120.0	
久保頭古墳	壱岐市	壱岐市	2021/12/2	2022/2/7	その他開発(畜産施設建設・造成)	本調査	100.0	
皿山窯跡	五島市	大学	2021/8/16	2021/9/30	学術調査	範囲	20.0	
百間窯遺跡	五島市	五島市	2021/7/14	2021/7/16	その他開発(太陽光発電設置)	範囲	4.0	
鶴亀城(神代城)跡(隣接地)	雲仙市	雲仙市	2021/4/5	2021/5/7	農業基盤整備事業(農道等を含む)	範囲	7.4	
中高野遺跡	雲仙市	雲仙市	2021/4/20	2021/7/30	農業基盤整備事業(農道等を含む)	本調査	2410.0	
内屋敷遺跡	雲仙市	雲仙市	2021/5/31	2021/6/10	農業基盤整備事業(農道等を含む)	範囲	10.0	
稻荷鬼塚古墳	雲仙市	雲仙市	2021/6/8	2021/9/10	農業基盤整備事業(農道等を含む)	本調査	53.0	
ドンク石遺跡	雲仙市	雲仙市	2021/5/31	2021/6/25	農業基盤整備事業(農道等を含む)	本調査	80.0	
大屋敷遺跡	雲仙市	雲仙市	2021/6/14	2021/6/14	個人住宅	範囲	2.0	
火箱遺跡	雲仙市	雲仙市	2021/7/13	2021/8/5	農業基盤整備事業(農道等を含む)	範囲	105.0	
内屋敷遺跡	雲仙市	雲仙市	2021/8/23	2021/8/27	農業基盤整備事業(農道等を含む)	範囲	2.0	
東原遺跡	雲仙市	雲仙市	2021/9/6	2021/9/9	その他建物	範囲	2.0	
真正寺条里跡	雲仙市	雲仙市	2021/9/10	2021/9/15	個人住宅	範囲	4.0	
内屋敷遺跡	雲仙市	雲仙市	2021/10/20	2021/10/22	農業基盤整備事業(農道等を含む)	範囲	2.0	
西原遺跡	雲仙市	雲仙市	2021/9/21	2021/9/28	その他の農業関係事業(農道等を含む)	範囲	4.0	
登建岬遺跡	雲仙市	雲仙市	2021/6/30	2021/11/2	農業基盤整備事業(農道等を含む)	本調査	2,124.0	
伊古遺跡	雲仙市	雲仙市	2021/10/21	2022/12/28	その他開発(防火水槽設置)	本調査	112.0	
下高野遺跡	雲仙市	雲仙市	2021/10/11	2022/2/25	農業基盤整備事業(農道等を含む)	本調査	2,230.0	
山田原東地区	雲仙市	雲仙市	2022/3/11	2022/3/30	農業基盤整備事業(農道等を含む)	試掘	12.0	
湯田川地区	雲仙市	雲仙市	2022/3/11	2022/3/30	農業基盤整備事業(農道等を含む)	試掘	16.0	
大塚川地区	雲仙市	雲仙市	2022/3/11	2022/3/30	農業基盤整備事業(農道等を含む)	試掘	8.0	
日野江城下地区遺跡	南島原市	南島原市	2021/4/22	2021/5/6	その他の農業関係事業(農道等を含む)	範囲	16.0	
常光寺前駅西側遺跡(隣接地)	南島原市	南島原市	2021/6/7	2021/6/10	農業基盤整備事業(農道等を含む)	試掘	8.0	
今福遺跡	南島原市	南島原市	2021/5/7	2021/6/4	その他の農業関係事業(農道等を含む)	範囲	28.0	
フケタ遺跡および遺跡隣接地	南島原市	南島原市	2021/7/1	2021/7/14	河川	試掘・範囲	16.0	
大崎鼻遺跡	南島原市	南島原市	2021/8/24	2021/8/31	道路	範囲	20.0	
二本櫨遺跡	南島原市	南島原市	2021/8/19	2021/8/23	道路	範囲	20.0	
史跡原城跡(隣接地)	南島原市	南島原市	2021/9/27	2021/9/27	道路	試掘	8.0	
野中A遺跡	南島原市	南島原市	2021/10/5	2021/10/8	農業基盤整備事業(農道等を含む)	本調査	10.0	
常光寺前駅西側遺跡	南島原市	南島原市	2021/11/1	2021/12/27	その他の農業関係事業(農道等を含む)	範囲	35.0	
水打場遺跡	南島原市	南島原市	2021/9/1	2021/10/15	農業基盤整備事業(農道等を含む)	範囲	100.0	
有家中部地区	南島原市	南島原市	2021/11/1	2022/3/18	農業基盤整備事業(農道等を含む)	試掘	100.0	
町村遺跡及び隣接地	南島原市	南島原市	2021/12/3	2022/2/11	道路	試掘・範囲	24.0	
北岡金比羅祀遺跡(隣接地)	南島原市	南島原市	2022/1/26	2022/2/24	道路	試掘	32.0	
新原堂遺跡	南島原市	南島原市	2021/10/15	2022/3/28	農業基盤整備事業(農道等を含む)	本調査	1,237.0	
野中C遺跡	南島原市	南島原市	2021/7/6	2021/7/14	農業基盤整備事業(農道等を含む)	本調査	16.0	
野中B遺跡	南島原市	南島原市	2021/6/1	2021/8/31	農業基盤整備事業(農道等を含む)	本調査	185.0	
平倉遺跡	西海市	西海市	2021/6/23	2021/6/24	その他開発(擁壁工事)	範囲	7.0	
石田遺跡	西海市	西海市	2021/8/24	2021/9/14	農業基盤整備事業(農道等を含む)	範囲	56.0	
横瀬郷	西海市	大学	2021/9/13	2021/11/15	学術調査	試掘	4.0	
長与三彩窯跡	長与町	長与町	2021/10/18	2022/2/16	保存目的の範囲内容確認調査	範囲	26.0	
ダラノ木遺跡	東彼杵町	東彼杵町	2022/3/9	2022/3/15	その他建物、保存目的の範囲内容確認調査	範囲	4.0	
才賀田石榴群	東彼杵町	東彼杵町	2022/3/9	2022/3/15	その他建物、保存目的の範囲内容確認調査	範囲	8.0	

令和3年度 県及び市町教委発行の埋蔵文化財発掘調査報告書等一覧

編集機関	報告書名	収録遺跡	シリーズ名	集数
長崎県 埋蔵文化財センター	長崎県埋蔵文化財調査年報29	長崎西役所跡、根引池遺跡(隣接地)、高岩の山城(隣接地)、早岐瀬戸遺跡、定光寺前遺跡、石屋洞穴、宮下貝塚、一乗院遺跡、津吹遺跡、原の辻遺跡(闇緑地区)、佐世保要塞砲兵連隊衛戍病院跡、下源在高野遺跡(隣接地)、灰ノ久保遺跡(隣接地)、原口B遺跡(隣接地)、岡城(夏峰城)跡(隣接地)	長崎県埋蔵文化財センター 調査報告書	40
	津吹遺跡	津吹遺跡		41
	長崎西役所跡	長崎西役所跡		42
	佐世保要塞砲兵連隊衛戍病院跡	佐世保要塞砲兵連隊衛戍病院跡		43
	原の辻遺跡	原の辻遺跡		44
佐世保市教育委員会	前原遺跡	前原遺跡	佐世保市文化財調査報告書	20
島原市教育委員会	島原市内遺跡範囲確認調査報告書1	寺中B遺跡、寺中城跡、上一野遺跡、島原城跡、大野原遺跡、礫石原遺跡、小原下遺跡、小原下遺跡、種田原遺跡	島原市文化財調査報告書	20
平戸市教育委員会	市内遺跡確認調査報告書	永田遺跡、堂の元遺跡、梅崎遺跡、小手田遺跡	平戸市の文化財	77
壱岐市教育委員会	カラカミ遺跡 総括編Ⅰ 車出遺跡群1次(Ⅰ区・Ⅱ区)、久保頭古墳、双六古墳 隣接地	カラカミ遺跡	壱岐市文化財調査報告書	33
雲仙市教育委員会	中熊遺跡	中熊遺跡	雲仙市文化財調査報告書	19
南島原市教育委員会	権現脇遺跡	権現脇遺跡	南島原市文化財調査報告書	28
	大崎鼻遺跡	大崎鼻遺跡		29
	通野遺跡	通野遺跡		30

II. 本県が主催する文化財保護に関する研修事業

1. 長崎県文化財保護行政主管課長会議・担当者会議

目的 県及び市町文化財保護行政主管課長及び担当者に対し、文化財保護及び活用に関する新たな情報や専門的知識を習得する場を提供するとともに、改正文化財保護法に基づいて策定中の長崎県文化財保存活用大綱や文化財保存活用地域計画作成に関する新たな情報を提供し、今後の県や市町の取組についての情報共有を行い、円滑な推進を図る。

期日 令和3年7月8日（木）

会場 長崎県農協会館7階701・702会議室

参加者 各市町文化財保護主管課長及び担当者
県関係各課長および担当者 計51名

内容

[説明等]

- ・令和3年度文化財関係補助制度について
- ・史跡名勝天然記念物の現状変更及び埋蔵文化財について
- ・長崎県水中文化遺産保存活用推進事業（概要）
- ・文化財保護法改正の動向について
- ・文化芸術活動に対する支援について
- ・長崎県埋蔵文化財関係様式の押印省略について

[事例報告] テーマ：「長崎県文化財保存活用大綱と文化財保存活用地域計画」

- ・事例報告1：地域計画策定のきっかけと計画策定後の取組について

(平戸市文化観光商工部 今村達也)

- ・事例報告2：松浦市における文化財保存活用地域計画の取り組み

(松浦市教育委員会 早田晴樹)

- ・事例報告3：島原市文化財保存活用地域計画策定について

(島原市教育委員会 大津英稔)

2. 開発部局・文化財保護部局担当者文化財基礎研修

目的 (1) 開発部局担当者に文化財に対する理解を深めてもらい、その取り扱いについて具体的な情報を提供することにより、円滑な文化財行政を推進する。

(2) 文化財主管課担当者に基礎的な知識を習得する場を提供し、文化財の保護に関する基本的な考え方や事務手続きなどの理解を深めさせ資質の向上を図る。

期日 令和3年6月21日（月）・22日（火）

会場 長崎県農協会館7階会議室

参加者 ・国・県及び市町開発部局担当者 計13名
・県及び市町文化財担当者（実務経験3年未満を主体） 延べ62名

内 容

[研修 I] 開発部局・文化財保護部局担当者を対象

- ・埋蔵文化財保護行政と埋蔵文化財包蔵地における開発に係る諸届について
- ・無届工事の増加について
- ・事例発表「佐世保市における無届工事「O」に向けた取組 - 窓口業務と文化財保護研修 - 」

(佐世保市教育委員会 松尾秀昭)

[研修 II] 文化財保護部局担当者を対象

- ・文化財保護法の改正と文化財大綱・地域計画の策定について
- ・指定・選定文化財の事務手続きについて（史跡・埋蔵文化財）（有形文化財等）（建造物）
- ・文化財補助金の適正な執行について
- ・事例発表「文化財（建造物）の保存と活用について」（波佐見町教育委員会 中野雄二）
- ・グループ・ディスカッション

3. 埋蔵文化財担当者専門技術研修

目 的 県内市町の埋蔵文化財専門職員及び埋蔵文化財保護業務を担当する職員等を対象として、埋蔵文化財保護行政を円滑に遂行するために必要な知識の修得を図る。

日 時 令和3年11月11日（木）・12日（金）

会 場 長崎県立長崎図書館・大村市立図書館「ミライ on 図書館」

講 師 近江俊秀（文化庁文化財第二課 主任文化財調査官）

参加者 県内埋蔵文化財担当者 延べ54名

内 容

[1日目]

- ・講義「埋蔵文化財の制度と運用について」
- ・講義「埋蔵文化財保護行政の現状と課題」
- ・長崎県文化財保存活用大綱と埋蔵文化財
(学芸文化課 宮武直人)

[2日目]

- ・事例発表「埋蔵文化財の活用－壱岐高校における教育支援－」(学芸文化課 山梨千晶)
- ・事例発表「埋蔵文化財の活用－公共施設等での遺物展示－」
(佐世保市教育委員会 松尾秀昭)
- ・事例発表「埋蔵文化財の活用－国特別史跡における民間管理団体との連携－」
(壱岐市教育委員会 松見裕二)
- ・グループ・ディスカッション
- ・調査官講評



講義風景



講評

III. 長崎県埋蔵文化財センターの事業

1. 東アジア考古学研究事業

(1) 発掘調査事業

長崎県埋蔵文化財センターでは、原の辻遺跡調査研究事業として遺跡内の環濠や旧地形等の状況調査を目的に平成14年度から国庫補助を受けながら範囲確認調査を実施している。調査は10年ごとに調査計画を立てて行っているものであり、現在行っている調査計画は、遺跡の北東側から南東側にかけての遺跡の広がりや遺構の状況を確認するために平成24年度からの10年計画を作成し実施しているものである。

令和3年度は、原の辻遺跡北側の閨縁地区の隣接地において発掘調査を実施した。

閨縁地区は、原の辻丘陵の北側、安国寺が所在する高台南側の緩傾斜地に位置する。当該地区はこれまで東亜考古学会と長崎県教育委員会の2度にわたり発掘調査が実施され、弥生時代中期を中心とした列墓が確認されている。令和3年度の調査地は、列墓が確認された地点から北に10mほど上がる丘陵部上に位置するところにあたる。

今回の調査地はもともと壱岐特有の「饅頭畑」であったが、1960年代頃に重機による開削が行われ、現状では住宅と上下2段の耕作地となっている。上段と下段のそれぞれに150m²の調査区を2箇所設定し調査を行った。発掘調査は、埋め戻し作業を除きすべて人力で行ったが、調査計画時の予想と異なり、水田化工事の際の盛土が厚く堆積していたことから、各調査区の西側と南側にトレンチを設定し、土地の堆積状況を確認することを中心に掘り下げを行った。その結果、閨縁地区の列墓の時期より新しい弥生時代の中後半の遺物が多く見つかり、溝跡と考えられる遺構を検出した。また、弥生時代後期初頭の土器が口縁部から胴部上半までを残した状態で出土した。そのほか、平安時代末頃から鎌倉時代頃の遺物を多く含む中世の遺物包含層が確認され、土師器片を多量に含む遺構や柱穴などが検出された。

(2) 東アジア国際シンポジウムの開催

東アジア考古学研究室は、本県が古代から東アジア交流の要衝として独特の文化を育んできた歴史的経緯を踏まえ、東アジア的視点に立った考古学研究を推進しその成果を発表している。令和3年度は、「光り輝く青銅器を求めて—原の辻遺跡出土青銅器から見た東アジア交流—」をテーマとしてシンポジウムを開催した。

○主 催 長崎県埋蔵文化財センター

○共 催 釜山博物館、長崎歴史文化博物館、壱岐市立一支国博物館

○後 援 長崎市教育委員会、壱岐市教育委員会、魏志倭人伝のクニグニネットワーク参加自治体・教育委員会、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、壱岐新聞社、壱岐新報社、NHK長崎放送局、N B C長崎放送、K T Nテレビ長崎、N C C長崎文化放送、N I B長崎国際テレビ、光ネットワーク（株）壱岐支店



シンポジウムチラシ

<長崎会場>

○日 時 令和3年10月16日(土) 13:00 ~ 16:30

○場 所 長崎歴史文化博物館ホール

○参加者 54名

※長崎歴史文化博物館の新型コロナウイルス感染拡大防止対策に基づき、会場最大収容人数の半数(70名)を定員として実施。

○内 容 基調講演 「青銅器から何がわかるか?」

福岡大学名誉教授・春日市奴国の丘歴史資料館名誉館長 武末 純一

講演1 「鏡からみた弥生時代の交流—原の辻遺跡出土鏡から考える—」

九州大学准教授 辻田 淳一郎

講演2 「韓半島出土馬形青銅装飾に関する検討」【オンライン発表】

釜山博物館福泉分館学芸研究士 洪 性栗

(通訳) 壱岐市教育委員会 田中 聰一

講演3 「原の辻遺跡芦辺高原地区出土 馬形青銅製品について」

長崎県埋蔵文化財センター東アジア考古学研究室

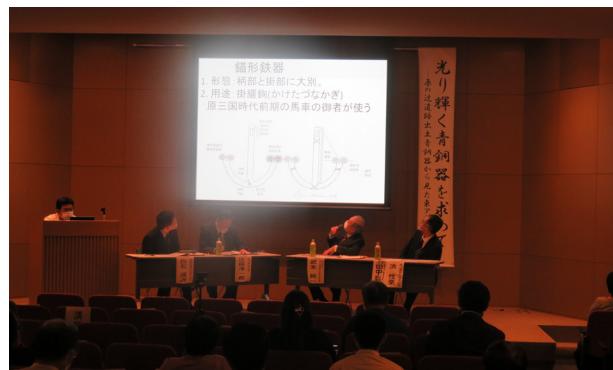
主任文化財保護主事 白石 溪洋

パネルディスカッション

(コーディネーター) 武末 純一

(パネラー) 辻田 淳一郎、洪 性栗、白石 溪洋

(通訳) 田中 聰一、釜山博物館 柳 順女



シンポジウムの様子(パネルディスカッション)



関連講演(一支国博物館特別講座)

<関連講座>

○日 時 令和3年10月24日（日）14:00～15:30

○場 所 壱岐市立一支国博物館3階多目的ホール

○参加者 56名

※一支国博物館の新型コロナウイルス感染拡大防止対策に基づき、会場最大収容人
数の半数（90名）を定員として実施。

○内 容 講演 「東アジアから見た原の辻遺跡の青銅器」

長崎県埋蔵文化財センター東アジア考古学研究室

主任文化財保護主事 白石 溪汎

(3) 東アジア諸国の研究機関との連携

長崎県埋蔵文化財センターは、平成27年5月に韓国・釜山博物館と友好交流機関協定を締結して以来、相互に職員を派遣し、発掘調査への参加や共同で資料調査を行うなどの学術交流を実施している。長崎県と釜山市では相互に関連のある考古資料が出土しているが、日韓の研究者双方の目で、同時に検討することで、海を介した交流の実態が明らかになってきた。また、中国東北地方（主に遼寧省・吉林省）を中心とした研究機関とも連携を深めている。

○新型コロナウイルス感染拡大による事業への影響

令和2年度から、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、職員の往来を伴う交流は不可能となり、令和3年度も同様の状況であった。しかしながら、釜山博物館とのメール等による継続的な情報交換、中国の研究機関との連携に向けた龍谷大学国際学部徐光輝教授（原の辻遺跡調査指導委員会委員）とのオンライン協議などを行い、事業の継続を促す取り組みを実施した。特に、東アジア国際シンポジウムでは、計画当初から釜山博物館職員のオンライン参加を準備するなど、新たな形で事業を進めることができた。

(4) 長崎県埋蔵文化財センター研究紀要第12号の刊行

本センターの研究紀要是、開所以来毎年刊行を重ねている。第12号では次の5本の論考を掲載した。

[内容]

岩佐 朋樹「五島列島の黒曜石産地推定（鰐川貝塚）」

宮崎 貴夫「「肥前型器台」の再検討—地域性と型式変遷について—」

川畑 敏則「石鍋加工品にみられる加工技術の総体—長崎県大村市竹松遺跡出土の事例から—」

野澤 哲朗・新井 実和・福井 遥香「諫早市高城跡で採集された瓦について」

川内野 篤「旧佐世保海軍警備隊長浦特設見張所跡現地調査概報」

2. 保存処理事業

県保有資料の木製品 36 点、金属製品 162 点、の計 198 点に関する保存処理を行った。木製品はトレハロース含浸処理法により保存処理を実施した。金属製品は主に鉄製品と銅製品に大別されるが、いずれも透過X線撮影等事前調査を実施したのち、鋳取り作業⇒脱塩処理（銅製品はBTA（ベンゾ・トリ・アゾール）処理）⇒アクリル樹脂含浸強化処理⇒接合・修復を実施した。

令和3年度国庫補助事業による保存処理一覧

◆木製品：36点

遺跡名	所在地	調査番号	処理点数	処理方法	備考
早岐瀬戸遺跡	佐世保市	202005	2	トレハロース含浸処理	R2本調査
長崎奉行所跡	長崎市	NK184	34		長崎県文化財調査報告書 第183集

◆金属製品：162点

遺跡名	所在地	調査番号	処理点数	処理方法	備考
早岐瀬戸遺跡	佐世保市	201906	100	透過X線撮影 ↓ 鋳取り・クリーニング ↓ 脱塩・BTA処理 ↓ 接合 ↓ 樹脂含浸強化	R1本調査
佐世保要塞砲兵連隊衛戍病院跡		202014	26		R2本調査
長崎西役所跡	長崎市	201905	2	R1範囲確認調査	
		202002	1		R2範囲確認調査
津吹遺跡	島原市	202011	33		R2本調査



早岐瀬戸遺跡出土「コマ」の処理例（左から処理前、含浸後、表面処理後、透過X線画像）

また県内市町が保有する資料に関する所定の申請を行えば保存処理施設の利用を許可しており、令和3年度は8市町からの利用があり計296点の保存処理を行った。土器は水で希釈できるエマルジョン系アクリル樹脂を含浸し強化した。

令和3年度 県内市町保存処理点数一覧

市町名	利用機関	遺跡名	種別	点数
諫早市	諫早市文化振興課	大門貝塚、溝口遺跡、西ノ角遺跡	金属製品	4
佐世保市	佐世保市文化財課	早岐瀬戸遺跡、鬼塚古墳	金属製品	171
雲仙市	雲仙市生涯学習課	稻荷鬼塚古墳、鍋島長屋門	金属製品	22
		小豆島	木製品	1
長崎市	長崎市文化財課	旧英國領事館、魚の町遺跡	木製品	19
	出島復元整備室	出島	木製品	3
平戸市	平戸市文化交流課	里田原遺跡	木製品	2
壱岐市	壱岐市社会教育課	カジヤバ古墳、山中遺跡、久保頭古墳、カラカラ遺跡、百田頭2・6・7号墳、永田3号墳、國津	金属製品	58
時津町	時津町社会教育課	前島古墳群	金属製品	15
西海市	長崎国際大学	横瀬浦	金属製品	1

出土遺物の保存処理に伴う事前調査機器（精密分析機器）も保有し、金属製品の材質分析や構造調査等も行っている。外部利用も受け入れており、令和3年度は8機関が、蛍光X線分析装置、透過X線画像撮影装置、実体顕微鏡などを利用した。



機器利用の様子

令和3年度 精密分析機器外部利用一覧

利用時期	利用者	利用内容	使用機器
2021年4月	壱岐市社会教育課	国柳遺跡表採硯?の分析	赤外線画像撮影装置
2021年6月	雲仙市生涯学習課	黒曜石の産地推定	蛍光X線分析装置
2021年7月	諫早市文化振興課	伝マリア観音像付着物質の成分分析	蛍光X線分析装置
2021年8月	長崎県立上対馬高校	黒曜石の産地推定	蛍光X線分析装置
2021年8月	長崎市文化財課	魚の町遺跡出土金属製品・ガラス製品・木簡、興善町遺跡出土墨書陶磁器の分析	実体顕微鏡、透過X線分析装置、蛍光X線分析装置、分析用電子天秤、赤外線画像撮影装置
2021年10月	大村市文化振興課	帶取遺跡赤色土壤の分析	実体顕微鏡、偏光顕微鏡、蛍光X線分析装置
2021年11月	佐世保市文化財課	黒曜石の産地推定	蛍光X線分析装置
2021年12月	雲仙市生涯学習課	黒曜石の産地推定	蛍光X線分析装置
2022年1月	長崎国際大学	西海市横瀬浦出土資料の分析	実体顕微鏡、透過X線画像撮影装置、蛍光X線分析装置
2022年1月	諫早市文化振興課	黒曜石の産地推定	蛍光X線分析装置
2022年2月	壱岐市社会教育課	久保頭古墳赤色土壤の分析	実体顕微鏡、偏光顕微鏡、走査型電子顕微鏡、蛍光X線分析装置
2022年3月	佐世保市文化財課	黒曜石の産地推定	蛍光X線分析装置
2022年3月	諫早市文化振興課	黒曜石の産地推定	蛍光X線分析装置
2022年3月	長崎県立上対馬高校	黒曜石の産地推定	蛍光X線分析装置

3. 水中文化遺産保存活用推進事業

本県は、面積 4,131 km²（全国 37 位）の狭小な県だが、島嶼は全国で最も多く（971 島）、海岸線は北海道に次ぐ 4,183 km と長大である。リアス式海岸や暖流の影響で漁業も非常に盛んであり、大陸と接觸する立地のために海を介した交流の歴史も豊かである。

現在、鷹島海底遺跡などの調査を契機として水中遺跡に対する関心は高まりつつある。しかし、水中遺跡の範囲や性格、重要性などは十分に把握されておらず、将来の保存・活用に向けた基礎資料の整備および保護にあたる人材の育成が急務である。本事業では、5か年にわたる県内全域の水中遺跡分布調査を行い水中遺跡の把握・周知を目指すとともに、全3回の水中考古学体験講座によって水中遺跡保護の人材育成と関係人口の拡大を図る。

(1) 県内水中遺跡の分布調査

全国では46万箇所以上の遺跡（埋蔵文化財包蔵地）が周知されているが、そのうち水中遺跡（海域や湖沼等において常に水面下にある遺跡）は約400箇所に過ぎず、県内でも鷹島海底遺跡（松浦市）や前方湾海底遺跡（小値賀町）など54箇所が知られるばかりである。こうした水中遺跡は、陸上の遺跡と同じく地域の歴史や文化を理解する上で重要な意義を持つが、その範囲や性格の把握は十分に進められてこなかった。未周知の水中遺跡は保護の対象になっていないために、開発や自然現象によって破壊されてしまう危険性を持っている。

本事業では、令和3年度から令和6年度までに県内全域の水中遺跡分布調査を実施し、令和7年度に報告書の刊行を計画している。このなかで、水中遺跡に関する基礎資料を整え、未周知の水中遺跡の把握および埋蔵文化財包蔵地として周知を図る。

調査は4段階で実施する。すなわち、予備調査・陸上踏査・水中調査・現地確認である。

予備調査では、現地調査地点の選定を行う。具体的には、既往調査の確認、市町担当者・関係事業者（漁業者・ダイビング事業者等）へのアンケートによる聞き取り、地形・地名の読み取り、史資料（古地図・絵図・古文書・郷土史・論文等）の読み取りなどの結果から調査地点を選定する。

陸上踏査では、予備調査によって選定した地点の沿岸部を歩き、遺物・遺構および周辺地理等の確認を行う。GPSを利用し、遺構や遺物を確認できた範囲も記録する。

水中調査では、スキンダイビング（シュノーケリング）およびスクーバダイビングによって遺物・遺構および水中地形等の確認を行う。陸上踏査同様GPSを利用する。なお、水中調査は漁業協同組合や海上保安庁等との調整後に実施した。

最後に地元の文化財保護担当者に同行を依頼し、新規の埋蔵文化財包蔵地候補地を現地で確認する。その後、所定の手続きを経て埋蔵文化財包蔵地として周知を行う。

なお、文化財保護の主体は地元であるという立場から、調査は地元文化財保護担当課をはじめとして、水産担当課、漁業協同組合、潜水事業者、その他住民等の協力を仰ぎ実施した。

令和3年度は壱岐地域、対馬地域の調査を実施した。詳細は後述するが、壱岐地域で「加志神社前遺跡」1件の把握・周知を行った。

(2) 水中文化遺産保護の担い手育成（水中考古学体験講座）

日本では、水中考古学に関する講義を開講する大学は非常に少なく、現在、水中遺跡調査などをを行う自治体や研究者、団体は手探りの状態である。文化庁は水中遺跡調査検討委員会を設置し、水中遺跡保護の在り方について検討を進めてきた。平成29年度には『「水中遺跡保護の在り方について」（報告）』、令和3年度には『水中遺跡ハンドブック』を刊行し、指針を示しているが、本格的な人材の育成はこれからの課題である。

本県においては、前述の分布調査等によって周知された水中遺跡は保護の対象となり、文化財保護法のもと保存と活用が図されることになる。しかし、実務については不慣れな職員も多いのが現状である。

そこで本講座では、水中考古学に関して第一線で活躍する講師を迎えて、実際の水中遺跡を見て、体験しながら学ぶ講座を企画した。令和3年度は8月23日（月）から25日（水）の3日間とし、松浦

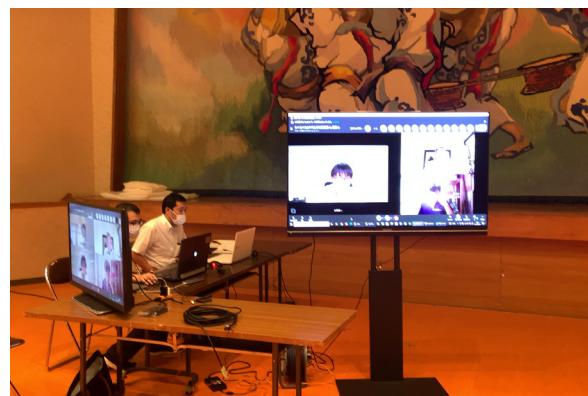
市鷹島での実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、急遽オンラインでの開催となった。受講対象は考古学等を専攻する学生および自治体職員等とし、当日は約50名の参加があった（そのうち39名が学生）。

アンケート結果によれば、考古学分野の講義のほか保存科学分野の講義も好評だった。その一方で、概説的な講義が多くなり自治体職員からは実務的な内容を求める声もあった。

そのため、8月の講座で開催できなかったエクスカーションを2月にあらためて計画したが再び新型コロナウイルス感染拡大により中止となった。



水中調査の様子



体験講座の様子

4. 教育普及事業

(1) オープン収蔵展示

調査研究の成果を紹介するため、併設する壱岐市立一支国博物館のオープン収蔵庫（高さ5mのガラス張りで、キッズこうちがく研究所および博物館2階より内部を見ることができる収蔵庫）を活用して、遺物の展示を行っている。令和3年度は以下の3つのテーマで遺物展示を行った。

第1回目『発掘ストーリーズ－原の辻遺跡を中心とした長崎の弥生遺跡アーカイブ－』では、長崎県教育委員会が行った原の辻遺跡発掘調査の貴重な記録写真・出土品とともに、原の辻遺跡の調査史や県内の弥生時代の遺跡から貴重な出土品を紹介した。第2回目『長崎県の古墳－よみがえる副葬品－』では、長崎県独自の特色ある古墳とともに、センターで保存処理をおこない初披露となった副葬品などを紹介した。第3回目『大和の果て 古のみち－飛鳥・奈良・平安時代の長崎県－』では、県内の飛鳥時代から平安時代にかけての遺跡や出土品とともに、日本と大陸を結んだ海の道や、都と地方を結ぶ官道などから、長崎県の「古代のみち」を紹介した。



『発掘ストーリーズ』展示風景



『長崎県の古墳－よみがえる副葬品－』

令和3年度 オープン収蔵展示

テーマ	主な展示品	期間
『発掘ストーリーズ -原の辻遺跡を中心とした長崎の弥生遺跡アーカイブ-』	弥生土器、甕棺、中国式銅劍、蜻蛉玉ほか(原の辻遺跡:壱岐市)、多紐細文鏡、劍把状木器ほか木製品(里田原遺跡:平戸市)、銅矛(阿連瀬戸原遺跡:対馬市)など	令和3年7月2日(金) ～ 令和3年10月24日(日)
『長崎県の古墳 -よみがえる副葬品-』	高下古墳出土装身具類(雲仙市)、武具類(鬼塚古墳:佐世保市、妙泉寺古墳群:壱岐市)、馬具類(百田頭古墳群、釜蓋古墳群:壱岐市)、前島古墳群出土須恵器(時津町)など	令和3年10月29日(金) ～ 令和4年2月27日(日)
『大和の果て 古のみち -飛鳥・奈良・平安時代の長崎県-』	軒丸瓦(壱岐嶋分寺跡:壱岐市)、木簡(原の辻遺跡:壱岐市)、玄海灘式製塩土器(大宝遺跡:壱岐市)、石帶(十園遺跡・伊古遺跡:雲仙市)、越州窯系青磁、墨書・刻畫土器、香炉蓋(竹松遺跡:大村市)、新羅系印花文陶器(大浜遺跡:五島市)など	令和4年3月4日(金) ～ 令和4年6月26日(日)

(2) 情報誌

情報誌『南北市羅』第16号をHPで配信した。この情報誌では、前年度（令和2年度）のセンター情報をわかりやすくまとめた記事を掲載している。

また、情報誌『長崎県の埋蔵文化財センターの収蔵展示』をA4サイズのフルカラー全8ページで発刊した。センターの収蔵展示で紹介した遺跡や出土品を解説した記事を掲載しており、一支国博物館及び埋蔵文化財センターへの訪問者などに配布し、ホームページにも掲載している。



情報誌

(3) ホームページおよびFacebookの公開更新

ホームページ(<http://www.nagasaki-maibun.jp/>)には『施設案内』、収蔵する出土品や精密分析機器の『施設利用』に関する申請書を掲載しているほか、近年の発掘調査状況を掲載している『センター発掘情報』、オープン収蔵展示や教育支援事業などを紹介する『インフォメーション』、刊行物を紹介する『出版物情報』、バックヤードツアーなどイベントを紹介する『イベント情報』などを掲載している。



現地説明会の様子を紹介する動画

また、平成26年から開設しているFacebookページ(<http://fb.com/1461241530809034>)で多くの写真を用いて親しみやすい情報の発信に取り組んでいるほか、長崎県インターネット放送局「よかよかテレビ（よかテレ）」や動画投稿サイトYoutubeでは東アジア国際シンポジウムや現地説明会などの動画を閲覧できる。

(4) 体験学習

『精密分析機器で調べてみよう』と題し、主に小学生を対象とした体験学習を夏休み期間中に開催している。子どもたちに分かりやすく、また興味を示すようなアイデアを盛り込み、各機器の特性を活かした工夫をこらしている。身近なものを、精密機器を用いて観察、分析することで得られる情報から、センターの仕事内容や成果の普及活動に努めている。令和3年度は4回の開催（4回は新型コロナウイルス感染拡大のため中止）で、計42名の参加があった。



顕微鏡で植物を調べる様子

(5) バックヤードツアー

埋蔵文化財センターに併設されている一支国博物館のイベントとして、毎月第3土曜日にバックヤードツアーを実施している。普段立ち入ることができないセンターの保存処理施設や出土品収蔵庫等を見学するツアーで、主にセンター職員が対応している。令和3年度は9回の開催（3回は新型コロナウイルス感染拡大のため中止）で、計63名の参加があった。



遺跡ができる過程を説明



木製品の保存処理機器を解説

(6) 資料貸出・閲覧・掲載許可

収蔵している出土品等の貸出や資料閲覧、写真等掲載に関して、所定の申請を受け、使用目的等適切であれば許可している。令和3年度は出土品の資料貸出4件（九州国立博物館、天草市立天草コレジョ館、壱岐市教育委員会社会教育課、長崎県世界遺産課）、資料閲覧1件、写真掲載許可申請8件について対応した。

(7) 長崎県立壱岐高等学校「東アジア歴史・中国語コース」支援

本センターでは、高校生の離島留学制度で設定された長崎県立壱岐高等学校東アジア歴史・中国語コースの授業支援を行っている。支援は1年生のコース生全員と、2年生の歴史学専攻生の授業の一部を担当しており、埋蔵文化財の公的な専門機関が年間を通して高校の授業を担当する例は全国でも稀である。

令和3年度は、1年生の「歴史学入門」を11回、2年生の「考古学入門・生活文化史」を27回実施し、特に2年生に対しては奈良大学と奈良県が主催している「歴史フォーラム」に研究論文を応募するための研究支援を中心に行った。研究支援は、1年次に考古学の基礎知識の講義を先行して行い、2年次の9月まで通常の授業時間および放課後の時間帯に論文作成のための指導を行った。その結果、「定光寺前遺跡出土の中世土師器からみた中世壱岐の研究」を研究論文として提出し、上位5編の「優秀賞」に選出された。また、7月の4日間、1年生全員と2・3年生の歴史専攻生とで縄文時代及び中世の遺跡である筒城浜遺跡の発掘調査をセンターの職員とともに実施した。



島内巡検の様子



授業風景



筒城浜遺跡発掘調査の様子



奈良大学「全国高校生歴史フォーラム」優秀賞受賞

歴史学入門(1年)			考古学入門・生活文化史(2年)		課題研究(3年)			
月	日	曜	授業名	担当者	授業名	担当者	授業名	担当者
4	13	火			考古学研究1	白石・中野		
	27	火	博物館・センター見学(見学)	片多・白石・中野				
5	18	火			考古学研究2	白石・中野		
	25	火			考古学研究3	白石・中野		
6	1	火	壱岐の史跡(巡査)①	白石・中野	壱岐の史跡(巡査)①	白石・中野		
	15	火			考古学研究4	白石・中野		
7	6	火	事前指導	白石・中野	事前指導	白石・中野		
	12	月			論文作成指導	白石・中野		
	13	火			論文作成指導	白石・中野		
	15	木			論文作成指導	白石・中野		
	26	月	簡城浜遺跡発掘調査	白石・中野	簡城浜遺跡発掘調査	白石・中野	簡城浜遺跡発掘調査	白石・中野
	27	火	簡城浜遺跡発掘調査	白石・中野	簡城浜遺跡発掘調査	白石・中野	簡城浜遺跡発掘調査	白石・中野
	28	水			論文作成指導	白石・中野		
	29	木	簡城浜遺跡発掘調査	白石・中野	簡城浜遺跡発掘調査	白石・中野	簡城浜遺跡発掘調査	白石・中野
	30	金	簡城浜遺跡発掘調査	白石・中野	簡城浜遺跡発掘調査	白石・中野	簡城浜遺跡発掘調査	白石・中野
8	18	水			論文作成指導	白石・中野		
	19	木			論文作成指導	白石・中野		
	24	火			論文作成指導	白石・中野		
	25	水			論文作成指導	白石・中野		
	26	木			論文作成指導	白石・中野		
	27	金			論文作成指導	白石・中野		
	30	月			論文作成指導	白石・中野		
9	14	火						
	28	火			発表資料作成指導	白石・中野		
10	5	火			発表資料作成指導	白石・中野		
	12	火			発表資料作成指導	白石・中野		
	19	火			発表資料作成指導	白石・中野		
	26	火						
11	9	火	原の辻遺跡発掘体験事前指導	白石・中野・林田	原の辻遺跡発掘体験事前指導	白石・中野・林田		
	16	火	原の辻遺跡発掘体験	白石・中野・林田	原の辻遺跡発掘体験	白石・中野・林田		
12	7	火						
	14	火						
	21	火						
2	7	火	歴史学入門	白石・中野・林田				
	24	木					表敬訪問	館長・所長・担当
3	15	火	歴史学入門	白石・中野・林田				

※毎年行っている体験入学に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響により第1回(8月)は中止となり、第2回(11月)は日程短縮のため本センターでの行事は行われなかつた。

(8) 学校教育支援「埋文MAIBUN学びのサポート」

本センターは、「埋文MAIBUN学びのサポート」という学校教育支援を行っている。これは、センター職員の高い専門性や、石器・土器など実際の遺物、さまざまな機器を活用したセンターでの学習等を通して、考古学への児童生徒の興味・関心を高める

日付	学校名	内容	人数
4月27日	壱岐高校「東アジア歴史・中国語コース」	博物館とバックヤード見学	13
9月14日	壱岐高校「東アジア歴史・中国語コース」	博物館とバックヤード見学(COREハイスクールネットワーク事業)	12
10月13日	壱岐市立石田中学校	博物館とバックヤード見学	49
10月14日	壱岐市立郷ノ浦中学校	博物館とバックヤード見学	94
11月18日	壱岐市立箱崎小学校	博物館とバックヤード見学	8
2月18日	壱岐市立勝本中学校	博物館とバックヤード見学	54

ほか、幅広い知識や技能の習得をサポートすることを目的として実施している。令和3年度は6件で、230人の利用があった。

○上対馬高校生徒機器利用

上対馬高校生徒1名が、対馬で採集した黒曜石の産地推定を行った。本センター所有の蛍光X線分析装置および黒曜石産地推定のための判別図を用い、令和3年度は2回の訪問で33点を分析した。



機器利用の様子

○インターンシップ受け入れ

長崎県では、大学等で構成する長崎インターンシップ推進協議会より依頼を受け、大学生等のインターンシップ受け入れを行っている。令和3年度は、令和4年2月14日（月）から18日（金）までの1週間で実施し、2名（熊本大学・早稲田大学大学院）を受け入れて、文化財保護行政及び埋蔵文化財センター業務内容の説明、壱岐島内遺跡巡査、出土品の整理作業・保存処理作業・精密分析作業等の体験を行った。



出土陶磁器の接合作業



出土銅製品の鑄取り作業

（9）現地説明会

①早岐瀬戸遺跡

10月10日（日）午前2回、午後2回現地説明会を行った。佐世保市内を中心に県内外からおよそ100名の見学者が訪れた。公開した遺構は釀造にかかわる大型建物基礎・搾り機・大型カマド、陶磁器がまとまって廃棄された遺物集中区、井戸・道路状遺構で、それぞれの場所に担当者を配置し説明を行った。あわせて出土した陶磁器や錢などの遺物の展示公開も行った。現地説明会以外には学校の授業として近隣の学校から小学生150名、中学生40名の見学があった。



早岐瀬戸遺跡現地説明会

②原の辻遺跡（隣接地）

12月18日（土）に閨縁地区隣接地の調査において現地説明会を開催した。快晴の下、島内を中心に県内外から30名の見学者があった。参加者を2班に分け2調査区ごとに遺構の検出状況や遺物出土状況を説明した。弥生時代の溝跡や中世土師器の埋納遺構と考えられる遺構が検出されており、興味深そうに調査区を覗き込む様子が見受けられた。



原の辻遺跡（隣接地）現地説明会

IV. 令和3年度長崎県教育委員会による埋蔵文化財発掘調査の概要

1. 灰ノ久保遺跡【遺跡調査番号：202101】

所 在 地 長崎県島原市有明町大三東甲 1434-1

調査原因 島原道路（出平有明バイパス）建設

調査期間 令和3年5月17日～令和3年5月25日

報 告 書 刊行なし

調査担当 長崎県埋蔵文化財センター

調査面積 16 m²

調査区分 範囲確認調査

処 置 調査後工事

立地と環境

灰ノ久保遺跡は島原半島東部の島原市有明町大三東に位置し、新期雲仙火山の火碎流及び岩屑なだれ堆積物からなる放射状の台地上に立地している。調査地点は標高95mほどで現状は畠地である。



調査区位置図

調 査

調査は、予定地内に4m×4mの試掘坑を1箇所設定し実施した。

層序は1層（耕作土）、2層（黄色褐色土）、3層（褐色砂質土）、4層（黄色褐色粘質土）、5層（灰色褐色土）、6層（黒褐色硬質土）で、6層は通称カシノミ層と呼ばれるものと思われる。

遺構は、4層上面で樹痕とトレンチャー痕を確認した以外に遺構は確認できなかった。



調査地遠景（南から）

遺物は、黒曜石の剥片、安山岩の剥片、縄文土器、弥生土器、土師質土器、近世陶磁器類、近代磁器、鉄製品が出土した。1～3層中で出土し、4～6層では出土していない。1～3層全てで陶磁器類が出土したため、1～3層は近世以降の土層となる。

まとめ

今回の調査で遺物包含層や遺構等は確認できなかったため、慎重に工事を進める対応となった。

【調査担当：濱村・前田】（文責：濱村）

2. 早岐瀬戸遺跡【遺跡調査番号：202102】

所在地 長崎県佐世保市早岐2丁目7他

調査原因 早岐川河川改修工事

調査期間 令和3年6月24日～令和4年2月10日

報告書 刊行予定（時期未定）

調査担当 長崎県埋蔵文化財センター

調査面積 1,265 m²

調査区分 本調査

処置 調査後工事（一部調査継続）

立地と環境

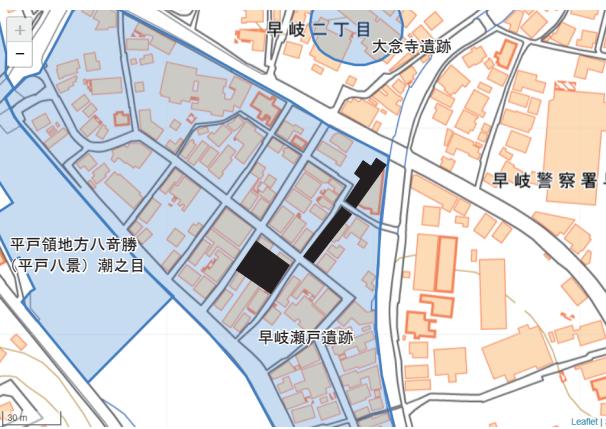
佐世保市南部の早岐地区に所在し、早岐瀬戸に面した沖積地に立地する。調査地点は早岐瀬戸が最も幅を狭める付近に位置し、周辺は宅地となっている。遺跡周辺は17世紀中頃に平戸藩による早岐瀬戸の埋め立てによって新しく造成された土地で、遺跡の中には平戸往還が通り港町・宿場町として栄えた。

調査

D～Fの3箇所の調査区を設定した。D・E区からはピット、土坑、カマド跡、溝、井戸など江戸時代の町屋に伴う遺構を多く検出した。また、D区からは令和2年度に確認した埋め立てに伴う護岸よりもさらに古い護岸を3列検出した。埋め立て土は今年度の調査区よりもさらに北（山側）に続くことから、早岐瀬戸の埋め立ては令和2年度に確認した17世紀前半よりもさらにさかのぼると思われる。F区では令和元年度に確認し埋め戻していた醸造関連遺構の再調査を行った。この遺構は醸造物を搾る搾り機の男柱で下部構造が残っていた。また、搾り機を据えていた蔵と思われる大型建物跡の基礎を検出した。大型建物跡は梁間11.5m、桁行（確認長）15mで桁は調査区外に伸びる。遺物はコンテナでおよそ600箱が出土し、その多くは波佐見、三川内、有田で焼かれた陶磁器である。その他、下駄や漆碗などの木製品、キセルや錢などの金属製品、獸骨・魚骨・種子などの食物残滓などが出土した。また、包含層からではあるが元文一分判も出土している。

まとめ

今後最も古い埋め立て護岸を確認することで早岐瀬戸遺跡の成り立ちがわかつてくるものと思われる。また、醸造関連遺構については出土した遺物や男柱の自然科学分析で稼働していた時代を確定したい。



F区で検出した大型建物跡

【調査担当：川畑・松元】（文責：川畑）

3. 津吹遺跡【遺跡調査番号：202103】

所在 地	長崎県島原市津吹町乙 1124-1、乙 1125-1	調査担当	長崎県埋蔵文化財センター
調査原因	一般国道 251 号改良工事（出平有明バイパス）	調査面積	487 m ²
調査期間	令和 3 年 7 月 2 日～令和 3 年 9 月 29 日	調査区分	本調査
報告書	令和 4 年度刊行予定	処置	調査後工事

立地と環境

津吹遺跡は島原半島の北東部に位置し、雲仙火山から北東方向に伸びる舌状台地上に立地する。同じ台地上の西側（山側）には、長貫B遺跡、谷を挟んで北側に寺中A遺跡、南東側に三会中学校遺跡がある。試掘調査は平成 30 年度【TBK201809】、今回の調査区の南側隣接地で令和 2 年度に本調査【TBK202011】を行っている。



調査

調査は 5m × 5m のグリッドを設定し、遺物は基本的にグリッドごとに取り上げた。

層序は I 層（耕作土等）、II 層（黒色火山灰土）、III 層（黄褐色砂質土）、IV 層（黒色火山灰土）、V 層（褐色硬質土のブロックを含む黒色火山灰土）、VI 層（褐色硬質土）、VII 層（黒色火山灰土）、VIII 層（橙色シルト土）である。旧地形は、北西方向から南東方向へ傾斜していた。造成工事により調査区の北西側では VI 層まで削平を受けて

いたが、南西角では II 層が比較的厚く残存していた。調査は II 層から III 層上面までを対象に行った。II 層からは主に弥生土器が出土し、II 層の下位へと下がるにしたがって縄文土器の出土量が増える傾向がある。III 層上面では縄文時代晚期の土器が出土した。III 層上面および VI 層にてピット状の土坑を複数検出したが、埋土から遺物は出土しなかった。平面プランや底面の形状から樹痕と考えられる。

まとめ

II 層下位及び III 層上面で遺物が散逸的に出土する状況から、原位置ではなく山側から流れ込んだものと考えられる。調査区より標高が高い場所に遺跡の本体が存在する可能性がある。



【調査担当：前田・濱村】(文責：前田)

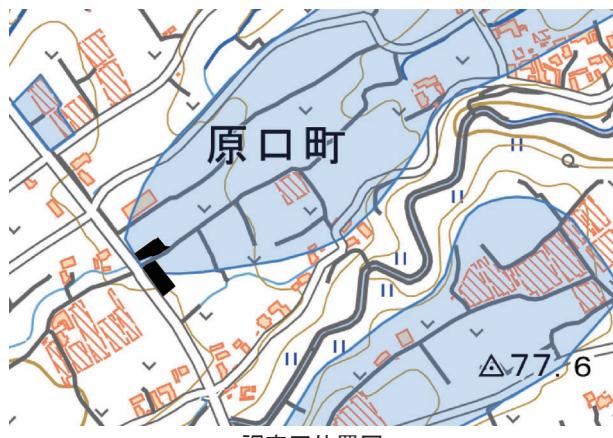
4. 原口B遺跡【遺跡調査番号：202104】

所在 地 長崎県島原市原口町丙 382-5、丙 994-1
調査原因 一般国道251号改良工事（出平有明バイパス）
調査期間 令和3年7月2日～令和4年1月31日
報告書 令和4年度刊行予定

調査担当 長崎県埋蔵文化財センター
調査面積 1,325 m²
調査区分 本調査
処置 調査後工事

立地と環境

原口B遺跡は島原半島東部に位置し、雲仙火山から北東方向に伸びる舌状台地上に立地する。同じ台地上の南西側（山側）には原口A遺跡や下油堀遺跡、谷を挟んで西側に上新高野遺跡、南側に寺中A遺跡が所在する。試掘調査は令和元年度【HGB201912】を行っている。



調査

調査は1区と2区に分けて行った。グリッドは5m×5m、サブトレーナーは1区で3箇所、2区で2箇所設定した。遺物は、褐色硬質土上面までは基本的にグリッドごとに取り上げ、褐色硬質土からは2m×2mのグリッドと1mのベルトを設定し、全て点上げとした。

1区の大半は褐色硬質土層まで削平を受けていた。北側では、褐色硬質土からは黒曜石剥片が出土した。

2区では盛土が30cm～180cm程あり、盛土の下は北東隅を除き地山である黄褐色シルト土を検出した。北東隅では谷と思われる自然の落込みを確認した。谷の埋土は黒色火山灰土で黒曜石剥片と縄文土器が出土した。土坑は黄褐色シルト土上面より5箇所確認したが、形状から樹痕と思われる。

まとめ

状況から島原半島広域農道（通称：雲仙グリーンロード）の工事に伴う畠地造成時に、大規模な土地改変が行われたことがうかがえる。1区の褐色硬質土から黒曜石製剥片が出土するが、出土数は少量で、かつ道具等が確認できない状況から抛点やキャンプサイトの可能性は低いと考えられる。また2区で検出した自然の落込みは、元々は現況で確認できる2区から北東方向（海側）にある谷の上流部分に当たると思われる。



1区完掘状況空中写真（画面右が北西方向）

【調査担当：前田・濱村】（文責：前田）

5. 上新高野遺跡【遺跡調査番号：202104】

所在 地 長崎県島原市有明町大三東甲 85-1、86-1、
88-1、89-1

調査担当 長崎県埋蔵文化財センター

調査原因 一般国道 251 号改良工事（出平有明バイパス）

調査面積 2,551 m²

調査期間 令和 3 年 7 月 2 日～令和 4 年 1 月 31 日

調査区分 本調査

報告 書 令和 4 年度刊行予定

処 置 調査後工事

立地と環境

上新高野遺跡は島原半島東部に位置し、雲仙火山から北東方向に伸びる舌状台地上に立地し、谷を挟んで北方向に灰ノ久保遺跡、南東方向に原口 B 遺跡が所在する。試掘調査は令和元年度【HGB201912】と令和 2 年度【HGB202017】に行っている。本調査は原口 B 遺跡 3 区として開始したが、後に上新高野遺跡へと名称変更された。



調 査

調査は、使用中の灌漑用水管と近隣営農者への配慮から 5 箇所に分割して行った。グリッドは 5m × 5m、サブトレンチは計 5 箇所を設定した。遺物は、IV 層（褐色硬質土）上面までは基本的にグリッドごとに取り上げ、IV 層からは 2m × 2m のグリッドと 1m のベルトを設定し、全て点上げとした。

基本的な層序は I 層（耕作土等）、II 層（褐色砂質土）、III 層（黒色火山灰土）、IV 層（褐色硬質土）、V 層（黒色火山灰土）、VI 層（橙色シルト土）である。造成による削平を受けており、西から南側は II 層まで、北東側は IV 層にまで達していた。また、トレンチャーによる攪乱も受けていた。IV 層上面で検出した風倒木痕から縄文土器が出土したほか、IV 層から黒曜石剥片が出土した。



完掘状況空中写真（画面右が北東方向）

まとめ

試掘調査【HGB202017】で IV 層から黒曜石の剥片が出土していたことから慎重に精査を行ったが、微細剥片は出土しなかった。また、IV 層に入った亀裂内より土器等の遺物が出土する状況から IV 層出土遺物の取り扱いに留意する必要がある。

【調査担当：前田・濱村】（文責：前田）

6. 大高野遺跡【遺跡調査番号：202105】

所在 地 長崎県島原市津吹町乙 487-1

調査担当 長崎県埋蔵文化財センター

調査原因 一般国道251号改良工事（出平有明バイパス）

調査面積 1,011 m²

調査期間 令和3年7月2日～令和4年1月31日

調査区分 本調査

報告書 令和4年度刊行予定

処置 調査後工事

立地と環境

大高野遺跡は島原半島東部に位置し、雲仙火山から北東方向に伸びる舌状台地上に立地する。同じ台地の北側には寺中A遺跡、西側（山側）には長貫B遺跡、南側には津吹遺跡が所在する。試掘調査は令和元年度【JCA201911】に行っている。本調査は寺中A遺跡として開始したが、後に大高野遺跡へと遺跡名称が変更された。

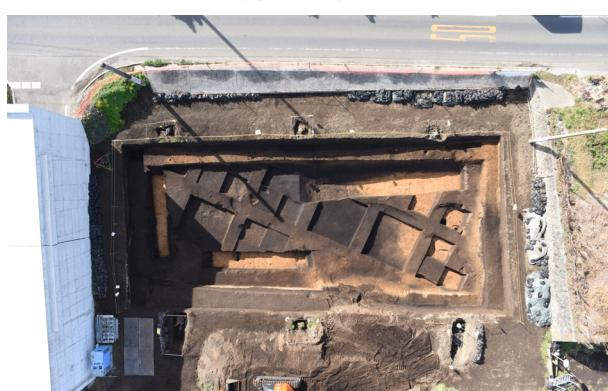
調査

グリッドは5m×5m、サブトレンチは3箇所設定した。試掘調査では、I層（耕作土等）、II層（黒色火山灰土）、III層（褐色砂質土）、IV層（黒色火山灰土）を確認しており、II層からIV層の遺物は基本的にグリッドごとに取り上げ、それより下層からは2m×2mの小グリッドと1mのベルトを設定し、遺物は全て点上げとした。

調査の結果、II層で弥生土器、IIIa層上面で縄文時代晩期の条痕文土器や黒色磨研土器、IVa層の下位で縄文時代早期の押型文土器が出土した。IVb層以下からは遺物は出土しなかった。遺構としては、IIIa層上面で3本の溝を検出している。本来はII層か、それよりも上層から掘り込まれた溝であるが、土色がII層と似ていたため平面検出が困難であった。また、IIIa層上面で土坑を検出したが、平面プランや底面の形状から樹痕および風倒木痕と考えられる。IV層の下面では、調査区中央で南西方向から北東方向に走る谷地形を検出した。この谷を境に北側と南側で土層堆積が異なる。谷の埋土は小礫を多量に含む硬質の火山灰土で、遺物は確認できなかった。

まとめ

各層の遺物は散逸的に出土する状況から、原位置ではなく周辺から流れ込んだ可能性が高いと考えられる。



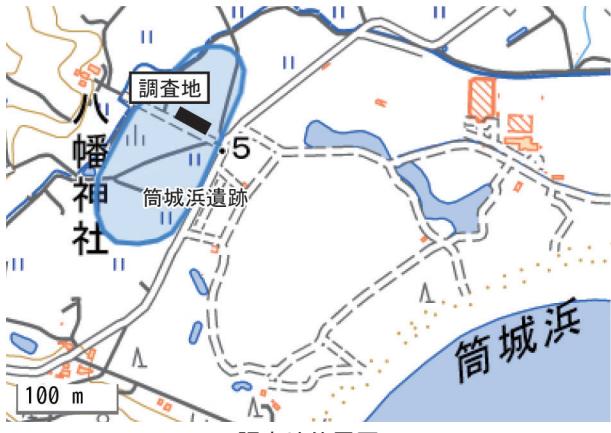
【調査担当：前田・濱村】（文責：前田）

7. 筒城浜遺跡【遺跡調査番号：202106】

所在地	長崎県壱岐市石田町筒城仲触	調査担当	長崎県埋蔵文化財センター
調査原因	内容確認調査（教育支援）	調査面積	20 m ²
調査期間	令和3年7月26日～令和3年7月30日	調査区分	範囲確認調査
報告書	未定	処置	調査後埋め戻し

立地と環境

筒城浜遺跡は、壱岐島の東端、南東方向に扇形に広がる筒城浜と呼ばれる砂浜の奥部に位置する。全長約600mの砂浜の最奥部には白砂八幡神社がある。遺跡はこの神社から海岸に向かって東西方向にのびる参道をほぼ中央として、東西約100m、南北約200mが縄文時代と中世の遺物包含地として周知されている。現在では、遺跡から海岸までは埋め立てにより公園になっているが、江戸時代末期に描かれた『壱岐名勝図誌』の絵図によると、遺跡の範囲の東端まで砂浜が伸びていた様子がうかがえる。



調査地位置図

調査

壱岐高等学校東アジア歴史中国語コースの教育支援のため、壱岐高等学校教員とともに壱岐島内の複数箇所の巡検を行った結果、筒城浜遺跡では地表から土器片等の遺物が多く採集され、また生徒の安全面・衛生面からも調査地に相応しいと判断された。過去には平成13年度の範囲確認調査において、11箇所の試掘坑が設定されたが、攪乱層から一部遺物が発見された以外は遺物や遺構は確認されていない。上述の『壱岐名勝図誌』の

絵図には、参道の北側のわきに「浮殿」と「棧敷所」が描かれ、現在はこのうち、コンクリートで補強された「浮殿」が残存している。他方、「棧敷所」の位置には、地表に配石等が見られない。このことから、土中にその痕跡が残らないかを確認するため、2×5mのトレーンチを2箇所設定して、範囲確認調査を行った。この結果、土器片を多数出土したことに加え、「乾隆通宝」を含む江戸から明治、大正時代にかけての錢貨が15点以上まとめて出土した。



発掘調査の様子

まとめ

「棧敷所」の遺構自体を確認することはできなかったが、絵図より「棧敷所」と判断される場所において多数の錢貨が見つかったことは、白砂八幡神社で行われた神事との関係を示唆するものと思われる。

【調査担当：白石・中野】(文責：白石)

8. 百間竈遺跡【遺跡調査番号：202107】

所在 地 長崎県五島市三井楽町波砂間字里畠 103
調査原因 太陽光発電システム施設設置
調査期間 令和3年7月14日～令和3年7月16日
報告 書 刊行なし

調査担当 五島市教育委員会（県支援）
調査面積 4 m²
調査区分 範囲確認調査
処 置 調査後工事

立地と環境

百間竈遺跡は福江島の西端部三井楽半島に位置し、溶岩台地縁辺に立地する。今回の調査地は海岸に向けて円形の畠（通称「円畠」）が段々畠として展開している場所に位置し、標高は9m程度である。



調 査

調査は、予定地内に 2m × 2m の試掘坑を 1 箇所設定し実施した。

層序は、1層（耕作土）、2層（造成土）、3a層（旧造成土）、3b層（灰色粘質土）、4層（赤褐色粘質土）で、3b層は3a層が4層の影響を受けて変色した土（近世）と思われる。

遺構は、確認できなかった。

遺物は、1層～3b層で黒曜石の剥片、安山岩の剥片、土器片、近世陶磁器類、近代磁器、現代のガラス製品が混在して出土した。



まとめ

今回の調査で遺物包含層や遺構等は確認できなかつたため、慎重に工事を進める対応となった。

【調査担当：濱村】（文責：濱村）

9. 寺中A遺跡（隣接地）【遺跡調査番号：202108】

所在地 長崎県島原市津吹町乙 488-1

調査担当 長崎県埋蔵文化財センター

調査原因 島原道路（出平有明バイパス）建設

調査面積 4 m²

調査期間 令和3年9月22日～令和3年10月8日

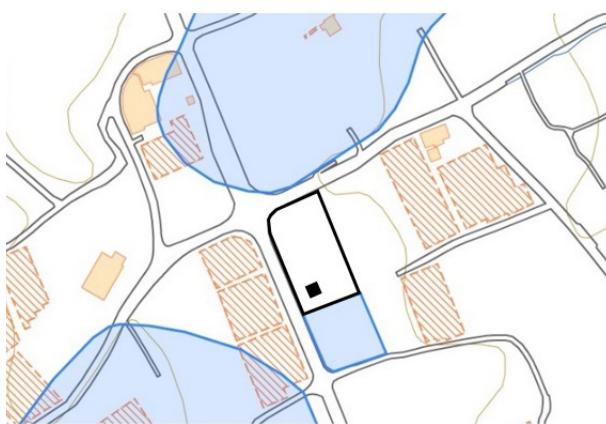
調査区分 試掘調査

報告書 刊行なし

処置 調査後工事

立地と環境

寺中A遺跡は島原半島東部の島原市寺中町に位置し、新期雲仙火山の火砕流及び岩屑なだれ堆積物からなる放射状の台地上に立地している。調査地点は標高85mほどで現状は畠地である。



調査

調査は、予定地内に2m×2mの試掘坑を1箇所設定し実施した。

層序は、1層（耕作土）、2層（黒色土）、3層（褐色砂質土）、4層（黒褐色硬質土）、5層（暗色土）で、4層は通称カシノミ層と呼ばれるものと思われる。

遺構は、確認できなかった。

遺物は、1層から縄文土器、弥生土器、土師質土器、近世陶磁器類、近代磁器、石鏃、黒曜

石剥片、安山岩剥片、鉄製品、現代のガラス片が出土した。このほか2層と3層の境界面から回収が困難なほどの土器細片が数点出土した。



まとめ

今回の調査で遺物包含層や遺構等は確認できなかったため、慎重に工事を進める対応となった。

【調査担当：濱村】（文責：濱村）

10. 灰ノ久保遺跡【遺跡調査番号：202109】

所在 地 長崎県島原市有明町大三東甲 1439-1

調査原因 島原道路（出平有明バイパス）建設

調査期間 令和3年9月22日～令和3年10月8日

報告 書 刊行なし

調査担当 長崎県埋蔵文化財センター

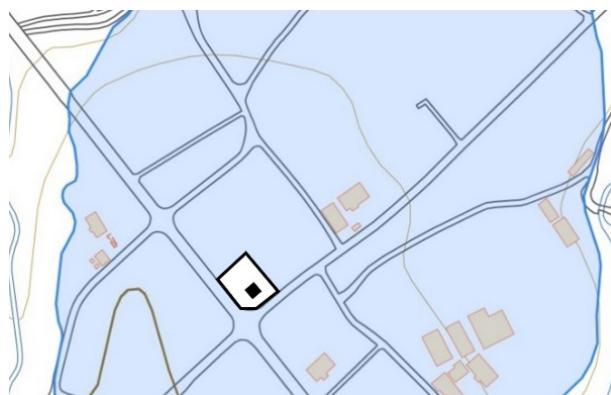
調査面積 4 m²

調査区分 範囲確認調査

処 置 調査後工事

立地と環境

灰ノ久保遺跡は島原半島東部の島原市有明町大三東に位置し、新期雲仙火山の火碎流及び岩屑なだれ堆積物からなる放射状の台地上に立地している。調査地点は標高95mほどで現状は畠地である。



調査区位置図

調 査

調査は、予定地内に2m×2mの試掘坑を1箇所設定し実施した。

層序は1層（耕作土）、2層（黒色土）、3層（黒褐色硬質土）、4層（褐色硬質土）、5層（暗色土）、6層（黒色土）、7層（橙褐色土）で、3層は通称カシノミ層と呼ばれるものと思われる。

遺構は、2層から3層の上半でゴボウ栽培のためのトレンチャーの跡を確認した以外に確認できなかった。

遺物は、1層から土器片と黒曜石片、5層と6層から黒曜石小塊をそれぞれ1点出土した。黒曜石小塊は、その大きさから火山噴出物と考えられる。



土層断面（南から）

まとめ

今回の調査で遺物包含層や遺構等は確認できなかつたため、慎重に工事を進める対応となつた。

【調査担当：濱村】（文責：濱村）

11. 下源在高野遺跡（隣接地）【遺跡調査番号：202110】

所在 地 長崎県島原市有明町大三東乙 397-2

調査担当 長崎県埋蔵文化財センター

調査原因 島原道路（出平有明バイパス）建設

調査面積 6 m²

調査期間 令和3年9月22日～令和3年10月8日

調査区分 試掘調査

報 告 書 刊行なし

処 置 調査後工事

立地と環境

下源在高野遺跡は島原半島東部の島原市有明町大三東に位置し、新期雲仙火山の火碎流及び岩屑なだれ堆積物からなる放射状の台地上に立地している。調査地点は標高82mほどで現状は畠地である。



調 査

調査は、予定地内に2m×2mの試掘坑を1箇所、2m×1mの試掘坑を1箇所の計2箇所設定し実施した。

層序は、1層（耕作土及び造成土）、2層（風化岩盤）で、2層の風化岩盤については、令和2年度の下源在高野遺跡隣接地における試掘調査【SGK202016】の一部の試掘坑で確認した一本松火碎流由来の堆積の可能性があると言及されている風化岩盤状の混礫硬質砂質土と同一のものである可能性が高い。

遺構は、確認できなかった。

遺物は、1層から土器片と黒曜石片が出土した。



TP1 土層断面（南から）

まとめ

今回の調査で遺物包含層や遺構等は確認できなかつたため、慎重に工事を進める対応となった。

【調査担当：濱村】（文責：濱村）

12. 水中遺跡分布調査【遺跡調査番号：202111】

所在 地 長崎県壱岐市・対馬市

調査担当 長崎県埋蔵文化財センター

調査原因 -

調査面積 -

調査期間 令和3年度（通年）

調査区分 分布調査

報告 書 令和7年度刊行予定

処 置 1件を周知化

概 要

県内全域の水中遺跡を把握・周知するため分布調査を実施した。

令和3年度は壱岐・対馬地域の調査を行った。調査は予備調査・陸上踏査・水中調査・現地確認の4段階で進めた。

対馬地域

対馬地域では、4月～6月に予備調査を行い69箇所の調査候補地を抽出。9月～10月に37箇所の陸上踏査を行った。さらに11月に12箇所で水中調査（スキンダイビング）、2月に5箇所で水中調査（スクーバダイビング）を実施した。

残念ながら新規の包蔵地把握には至らなかったものの、対馬地域の海事等基礎データをまとめることができた。

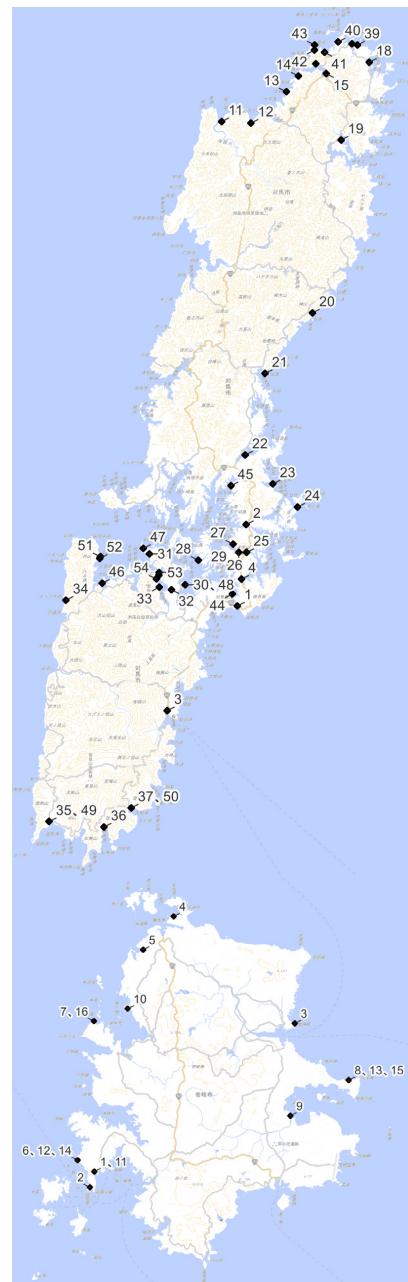
壱岐地域

壱岐地域では、4月～6月に予備調査を行い46箇所の調査候補地を選び出した。その後、6月～7月に10箇所で現地踏査、9月に3箇所の水中調査（スキンダイビング）、10月に壱岐市職員と2箇所の現地確認を行った。

その結果、1箇所を「加志神社前遺跡」として把握・周知できた。加志神社前遺跡は、渡良半島西端に位置し、潮間帯の砂浜部分を主体とする。今回の調査では、弥生土器や須恵器、土師器を採集できたことから弥生時代・古墳時代の遺跡として周知している。

まとめ

令和3年度が初年度ということもあり、調査方法について試行錯誤を重ねてきた。遺跡の立地や分布、形成過程なども含めてより効果的かつ現実的な調査方法の模索が必要である。



壱岐・対馬地域の調査地点

【調査担当：片多・岩佐】（文責：岩佐）

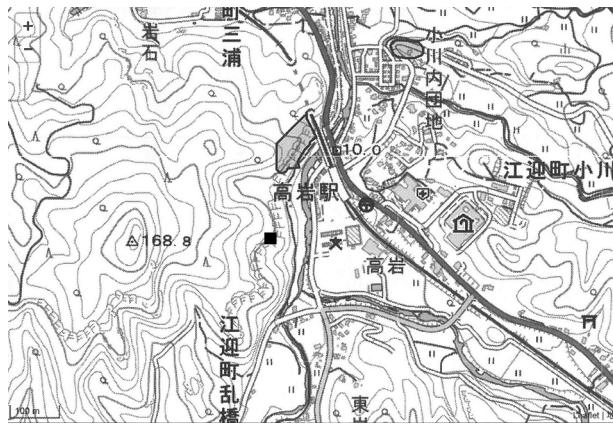
13. 石屋洞穴【遺跡調査番号：202112】

所在地 長崎県佐世保市江迎町乱橋 615-7 地先
調査原因 一般国道497号松浦佐々道路建設
調査期間 令和3年10月27日～令和4年2月22日
報告書 令和4年度刊行予定

調査担当 長崎県埋蔵文化財センター
調査面積 170 m²
調査区分 本調査
処置 再調査（本調査）

立地と環境

本遺跡は、第三紀堆積岩（砂岩）に南向きに開口した洞穴に形成されている。洞穴の大きさは間口約5m、奥行き約7～8m、高さ約6～10mを測る。



遺跡位置図

調査

調査区は洞穴内を1区とし、洞穴外を2・3区とした。1区雨だれライン内の掘削土については、位置を記録しフルイ掛けを行った。1区は、南北に主軸を通し、適宜トレンチを入れ、土層を確認しながら東西を順次掘り下げる方法をとった。

1区では、1～5面の遺構面を検出した。各面に炉跡と思われる焼土集中部があり、その周辺で石器や剥片、チップが多く出土した。炉跡はSL1～6を検出した。

1区主軸断面の観察では、洞穴奥ではシルト・礫互層で、洞穴開口部では礫層が主体となっていた。また、遺構・遺物は雨だれラインより内側に集中していることも確認された。

遺物は安山岩製剥片を主体として、安山岩や黒曜石製石器が出土した。2面で西唐津式相当の土器片および山形押型文土器、4・5面で楕円押型文土器が出土した。

2・3区では遺構・遺物がほぼ出土しなかった。石屋洞穴は塩類風化によって形成されたと考えられ、前庭部となりうる地形が見られないことに加え、落ちてきた2mを超えるような巨岩がいくつも地面に突き刺さっていることからも洞穴外は利用に適さなかつたものと思われる。

まとめ

当初予定した深度の調査は完了したものの更に下層から遺構や遺物の出土が見込まれたため、令和4年度に改めて本調査を実施することとなった。

【調査担当：岩佐・松元】（文責：岩佐）



洞穴内の様子

14. 原の辻遺跡（隣接地）【遺跡調査番号：202113】

所在 地	長崎県壱岐市芦辺町深江鶴亀触〔閨縁地区隣接地〕	調査担当	長崎県埋蔵文化財センター
調査原因	原の辻遺跡調査研究事業	調査面積	300 m ²
調査期間	令和3年11月4日～12月24日	調査区分	範囲内容確認調査
報告書	令和5年度刊行予定	処置	調査後埋め戻し

立地と環境

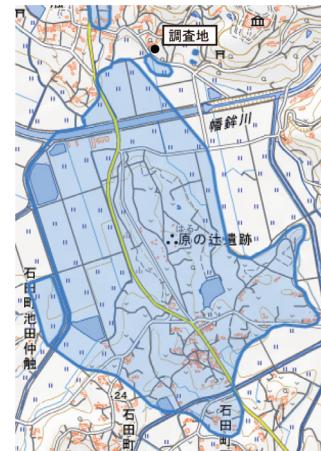
閨縁地区は、原の辻丘陵の北側、安国寺が所在する高台の南側の緩傾斜地に位置する。二つの高台に挟まれた谷頭から南東にやや下った丘陵沿いでは、昭和29年東亜考古学会、および平成7年と平成10年に原の辻遺跡調査事務所により、弥生時代中期を中心とした甕棺墓と石棺墓の列状配置が2地点で確認されている。令和3年度の調査地は、列墓が確認された地点から北に10mほど急激に上がる丘陵部上の傾斜地である。

調査

今回の調査地はもともと壱岐特有の「饅頭畑」であったが、昭和30から40年代頃に重機による開削が行われ、現状では住宅と上下2段の耕作地となっている。上段と下段のそれぞれに150 m²の調査区を2箇所設定し調査を行った。発掘調査は、埋め戻し作業を除きすべて人力で行ったが、調査計画時の予想と異なり、水田化工事の際の盛土が厚く堆積していたことから、各調査区の西側と南側にトレンチを設定し、土地の堆積状況を確認すること目的として掘り下げを行った。その結果、閨縁地区の列墓の時期よりやや新しい弥生時代中期後半の遺物が多く見つかり、溝跡と考えられる遺構を検出した。また、弥生時代後期初頭の土器が口縁部から胴部上半までを残した状態で出土した。そのほか、平安時代末頃から鎌倉時代頃の遺物を多く含む中世の遺物包含層が確認され、土師器片を多量に含む遺構や柱穴などが検出された。

まとめ

令和3年度の調査では、上記のように盛土が想定以上に厚く堆積していたことから、トレンチ調査を行った。これにより現状では上下2段の耕作地となっている調査地は、南側に緩やかに下る傾斜地であったことや、土層の堆積状況など、遺跡の環境に関する情報を得ることができた。他方、遺構の広がりを面的に把握することに課題が残り、令和4年度にも引き続き調査を行う予定である。また、この調査の成果として閨縁遺跡が今回の調査地まで広がることが確認され、閨縁遺跡の範囲変更（拡張）をすることができた。



調査地位置図



中世土師器埋納遺構

【調査担当：白石・中野・林田】(文責：白石)

15. 畑中遺跡【遺跡調査番号：202114】

所在 地 長崎県島原市下宮町 2421 地先

調査 担当 長崎県埋蔵文化財センター

調査 原因 一般県道野田島原線交通安全施設等整備工事

調査 面積 18 m²

調査 期間 令和 3 年 11 月 29 日～令和 3 年 12 月 3 日

調査 区分 範囲確認調査

報 告 書 刊行予定なし

処 置 調査後工事

立地と環境

島原半島東部に位置し、雲仙普賢岳の山麓扇状地末端にあたる。28万m²と広範囲に広がる当遺跡では、1991年に標高30m付近で開発関連の発掘調査が行われている。縄文時代晚期の埋甕や中世の溝状遺構・掘立柱建物跡・精鍊鍛冶遺構が検出され、遺物では縄文時代早期・晚期・中世の包含層で多量の遺物が出土している。

調査

調査地は91年調査地点から150mほど海側に下った位置にあり、幅3m弱の道路拡幅予定範囲のうち、立ち入り可能な延長65mの区間で3箇所の試掘坑を設定した。現耕作土の層厚が60～80cmでその下の旧耕作土の層厚が80cmほどであった。その下はアカホヤ火山灰等の再堆積層とみられる褐色土層で、耕作による削平を受けている。TP2では地表から1.9mの深さまで耕作土であり、その下は削平を受けたパミス混じりの硬質土（礫石原火碎流か）であった。

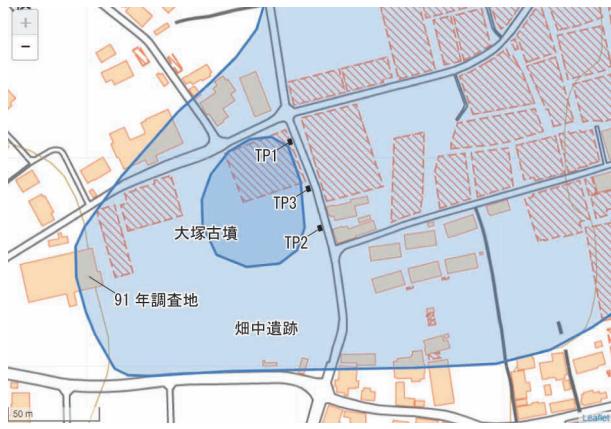
遺物では主に耕作土中で縄文時代晚期土器、石器剥片（安山岩・黒曜石）、中世の土師質土器、瓦質土器、貿易陶磁器、滑石製品のほか、土錘、鉄滓、不明鉄製品、近世陶磁器が出土した。

明確な遺構の検出はなかったが、TP1・3では褐色層の面で道路側への落ち込みを確認した。中世の道状遺構や溝状遺構等を念頭に掘削調査を行った。明瞭な掘削痕跡は認められないが、自然地形ではなく人為的に形成された可能性が考えられる。耕作土で覆われることから段々畠の土羽等であった可能性がある。年代について、出土遺物では縄文時代や中世のほか近世陶磁器が認められることから、この落ち込みは人為的形成であるとしても近世以降の所産と考えられる。

まとめ

今回の調査原因となる工事計画地で立ち入りのできなかった範囲については、令和4年度以降に別途協議していく予定である。

【調査担当：松元】（文責：松元）



調査区位置図



試掘坑 TP1

16. 灰ノ久保遺跡【遺跡調査番号：202115】

所在 地 長崎県島原市有明町大三東甲 1437-1

調査原因 島原道路（出平有明バイパス）建設

調査期間 令和4年1月17日～令和4年1月24日

報告 書 刊行なし

調査担当 長崎県埋蔵文化財センター

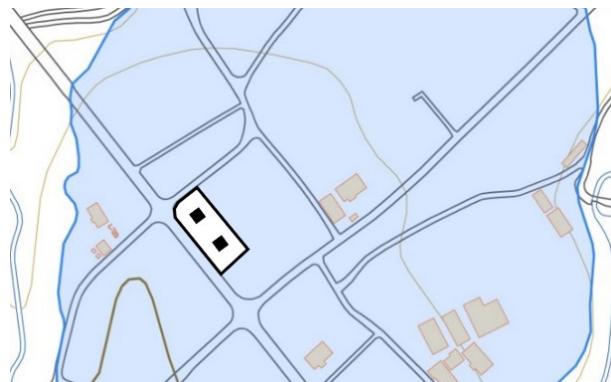
調査面積 18 m²

調査区分 範囲確認調査

処置 調査後工事

立地と環境

灰ノ久保遺跡は島原半島東部の島原市有明町大三東に位置し、新期雲仙火山の火碎流及び岩屑なだれ堆積物からなる放射状の台地上に立地している。調査地点は標高96mほどで現状は畠地である。



調査区位置図

調査

調査は、予定地内に3m×3mの試掘坑を2箇所設定し実施した。

層序は、1層（耕作土）、2層（旧耕作土）、3層（黒色土）、4層（黄褐色土）、5層（黒褐色硬質土）、6層（褐色硬質土）、7層（黒色土）、8層（橙褐色土）で、5層は通称カシノミ層と呼ばれるものと思われる。

遺構は、2層上面で樹痕とゴボウ栽培のためのトレンチャー痕を確認した以外に確認できなかった。

遺物は、縄文土器、弥生土器、土師質土器、近世陶磁器類、近代磁器、黒曜石の剥片、安山岩の剥片、鉄製品が出土した。すべて1～3層中で出土し、4層以降では遺物は出土していない。



TP1 土層断面（南から）

まとめ

今回の調査で遺物包含層や遺構等は確認できなかったため、慎重に工事を進める対応となった。

【調査担当：濱村】（文責：濱村）

17. 岡城（夏峰城）跡（隣接地）【遺跡調査番号：202116】

所在地 長崎県雲仙市瑞穂町古部 1789-1、1790-1
調査原因 島原道路（瑞穂吾妻バイパス）建設
調査期間 令和4年2月14日～令和4年3月4日
報告書 刊行なし

調査担当 長崎県埋蔵文化財センター
調査面積 32 m²
調査区分 試掘調査
処置 調査後工事

立地と環境

岡城（夏峰城）跡は島原半島北部の雲仙市瑞穂町古部に位置する。今回の調査地は、岡城（夏峰城）跡の横を流れる船津川沿いにある狭小な圃場となっている箇所で、調査地点の標高25mほどである。



調査

調査は、道路橋脚建設予定地内に4m×4mの試掘坑を2箇所設定し実施した。

層序は、1層（耕作土）、2層（床土）、3層（旧耕作土）、4層（旧床土）、5層（褐色砂礫層）で、5層は旧河川跡と思われる。

遺構は、確認できなかった。

遺物は、遺物は各層から出土しているが、4層まではコンクリート片が混じっていた。5層のきわめて狭い範囲で縄文土器、土師器、韁羽口が出土した。5層出土の遺物は、出土状況から旧河道の窪んだところに遺物が溜まったものと判断される。



まとめ

今回の調査で遺物包含層や遺構等は確認できなかったため、慎重に工事を進める対応となった。

【調査担当：濱村・林田】(文責：濱村)

18. 杉山古墳（隣接地）【遺跡調査番号：202117】

所在 地 長崎県雲仙市瑞穂町古部乙 1529-1 他
調査原因 一般国道 251 号改良工事（瑞穂吾妻バイパス）
調査期間 令和4年2月14日～令和4年3月4日
報 告 書 刊行予定なし

調査担当 長崎県埋蔵文化財センター
調査面積 40 m²
調査区分 試掘調査
処 置 調査後工事

立地と環境

調査対象地は島原半島北部に位置し、雲仙火山から北西方向に伸びる舌状台地上に立地する。同じ台地の南側（山側）には杉山古墳、上原古墳が点在し、西側（海側）には蓮光寺跡、横山古墳、大園遺跡、坊屋敷石棺があり、西側の平野部には守山条里跡や守山大塚古墳が所在する。

旧耕作者から、調査対象地一帯は元々みかんの段々畑であったが、畑を広くする際に造成を行ったとの証言を得た。

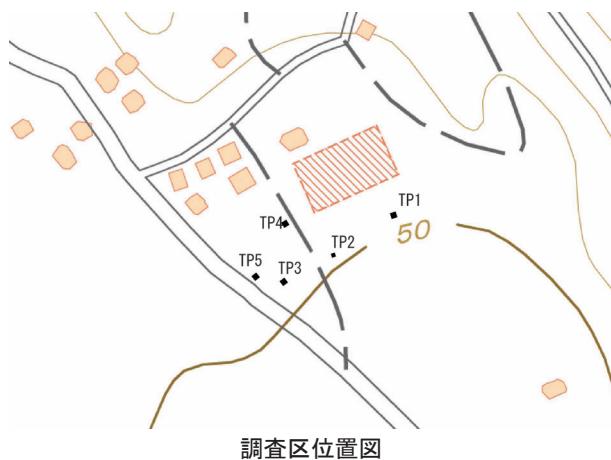
調 査

試掘坑は TP1～TP5 の計 5 箇所で、TP2 は 2m × 2m、その他は 3m × 3m で設定した。

調査の結果、表土は約 8～35 cm で堆積し、TP1 と TP4 の表土下で約 15～35 cm の造成土を検出した。また、それらの造成土の下及び TP2・TP3・TP5 の表土の下で、地山である礫混じりの褐色シルト土を検出した。褐色シルト土の土色については TP2～4 は赤味を帯びる (Hue7.5YR) のに対し、TP1 と TP5 は黄色味 (Hue10YR) を帶び、特に TP4 では厚く堆積することや、TP1 と TP3 では褐色シルト土の下より火碎流由来と思われる風化礫を多く含む砂礫層が堆積するなど、近隣であっても地点によって堆積が異なる状況となっており、今後の調査においても留意する必要がある。

まとめ

旧耕作者の証言通り、畑地造成時に大きく削平を受けている状況を確認した。今回の調査対象地における本調査は不要と判断したが、遺跡が比較的多い環境や盛土の可能性から、周辺地においては引き続き調査を行い埋蔵文化財の有無の確認を行う必要があると考える。



【調査担当：濱村・前田】（文責：前田）

報告書抄録

ふりがな	ながさきけんmaiぞうぶんかざいちょうさねんぼうさんじゅう					
書名	長崎県埋蔵文化財調査年報30					
副書名	令和3年度調査分					
巻次	30					
シリーズ名	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書					
シリーズ番号	第45集					
編集機関	長崎県埋蔵文化財センター					
所在地	〒811-5322 長崎県壱岐市芦辺町深江鶴亀触515-1 TEL0920 (45) 4080					
発行年月日	2022年9月30日					
所収遺跡名	所在地	遺跡コード		調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町	遺跡番号			
灰ノ久保遺跡	島原市	42203	085	20210517～20210525	16.0	道路
早岐瀬戸遺跡	佐世保市	42202	493	20210624～20220210	1,265.0	河川改修工事
津吹遺跡	島原市	42203	019	20210702～20210929	487.0	道路
原口B遺跡			003	20210702～20220131	1,325.0	
上新高野遺跡			101		2,551.0	
大高野遺跡			098		1,011.0	
筒城浜遺跡	壱岐市	42210	458	20210726～20210730	20.0	保存目的の範囲内容確認調査
百間竈遺跡	五島市	42211	092	20210714～20210716	4.0	その他開発 (太陽光発電設置)
寺中A遺跡(隣接地)	島原市	42203	379	20210922～20211008	4.0	道路
灰ノ久保遺跡			085		4.0	
下源在高野遺跡(隣接地)			075		6.0	
水中遺跡分布調査	壱岐市 対馬市	42210 42209	-	-	-	-
石屋洞穴	佐世保市	42202	510	20211027～20220222	170.0	道路
原の辻遺跡(隣接地)	壱岐市	42210	424	20211104～20211224	300.0	保存目的の範囲内容確認調査
畠中遺跡	島原市	42203	017	20211129～20211203	18.0	道路
灰ノ久保遺跡	島原市	42203	085	20220117～20220124	18.0	道路
岡城(夏峰城)跡(隣接地)	雲仙市	42213	073	20220214～20220304	32.0	道路
杉山古墳(隣接地)			093		40.0	道路

長崎県埋蔵文化財センター調査報告書 第45集

長崎県埋蔵文化財調査年報 30
[令和3年度調査分]

2022年9月30日

発行 長崎県教育委員会
長崎市尾上町3番1号

印刷 株式会社 昭和堂
諫早市長野町1007-2